

第 14 章

日本列島修復論

14.1 戦後未曾有の危機が来た？

令和3年、2021年、皇紀2681年の今年、我が国は未曾有の自体に陥っている。いま世界は新型コロナウイルス禍にある。そのプレッシャーの下で、日本の政府や自治体の政治家による自粛要請で経済がほぼ崩壊した。仮にそれがなかったとしても、我が国の経済は依然として低迷しているだろう。なぜなら、我が国は1994年のバブル崩壊以来2021年のいままで全く変わらない。最初に始まった「空白の10年」「空白の20年」そして「空白の30年」を続けたからだ。

はたして我が国の経済は、いまの状況を乗り越えられるのだろうか？

この問題に対する私の極めて個人的な意見を語りたい。

14.2 結論

話を理解しやすくするために、まず先に結論から述べよう。

我が国は非常に特殊な国だ。歴史、文化伝統、国家、言語、人種、地理、環境、教育、経済、科学、テクノロジーなど。すべてにおいて特殊な国なのだ。我が国は特殊条件の宝庫なのだ。いちいちそのそれぞれのその特殊性を論じたらそれぞれ1冊以上の本になってしまう。我が国はそういう特殊事情満載の国なのだ。

まずこれを念頭に置かなければ問題は解決できない。欧米とは異なる。これは、前章で論じたとおりなのだ。

そこで、日本の特殊事情の戦後最大のものは何だろうか？

それは、1970年代田中角栄首相時代の「日本列島改造論」*1の時代から、ちょうど50年過ぎたということなのだ。だから、「日本列島改造論」で行ったことを見直す。そうすれば、自ずと何をすべきか見えてくるのだ。

いったい「日本列島改造論」の時代、何をしたのだろうか？

それは、国内のインフラの整備事業だ。つまり、セメント事業だ。つまり、セメント事業とその関連の事業を見直すこと。見直すと、そこに多くの亀裂、破壊、破損、脱落、欠陥などの劣化事情が見えてくるだろう。

なぜか？

それは、セメントの耐久年数があるからだ。

セメントの耐久年数、耐用年数を知っているだろうか？

*1 田中角栄著「日本列島改造論」(日刊工業新聞社, 1972年)。

それは、せいぜい30年から、長くて40年なのだ。

私が大学院を卒業して最初に入った会社はセメント会社だった。だから、多少そのころセメントのことは学んだ。というより、入社後の新人社員研修で学んだことだ。

つまり、我が国のインフラはすでに耐用年数を過ぎたのだ。それも10年から20年も過ぎたのだ。だから、日本全国津々浦々、1970年代から1980年代までに行われたセメント事業はすべて耐用年数を過ぎて劣化している。

ちょうど我々人間が人生50年の50歳を過ぎると、人の耐用年数を過ぎて徐々に劣化してくる。それと同じように、セメントも内部の水分が抜けて乾燥し、ミクロの亀裂が走り始める。一度亀裂が入ると、それが雪崩現象を起こす。そうやって、なにかの物理的刺激で割れる。すると、割れが周囲を囲めば、それが崩落する。こういうことを繰り返して、我が国の地方自治体のトンネル、ダム、橋、陸橋、ビル、学校など、その時代に生まれたあらゆるものが崩落するのだ。

金属においても同様だ。金属にも耐用年数がある。だいたいセメントと同じかそれより短い。鉄は錆びる。だから、終いにはぼろぼろになって弱くなる。

こうして、鉄筋コンクリートで作られた1970年代から1980年代の我が国のインフラはすべていま崩壊中。実はこれこそ我が国の経済低迷の真の理由なのだ。

他の国々はこのことではない。外国にはもともとそうしたインフラが整備されていない。建国の最初から今現在までずっと発展途上にあるのだ。アメリカでもそうだ。アメリカやオーストラリアは大陸だ。人が住んでいる場所はわずか数%でしかない。あとはその

ままだ。

日本に似ているのは、せいぜい欧州の老舗の国々の大都市の程度だ。ギリシャ、イタリア、スペイン、ポルトガル、ハンガリー、ポーランド、ドイツ、フランス、イギリス、オランダ。せいぜいそういったかつて一世風靡したことのある国々の主要都市程度なのだ。だから、日本とは全く事情が違うのだ。

我が国は、戦後瓦礫の山で出発した。そして、欧米に追いつけ追い越せでしゃにむに頑張って復興を遂げた。その象徴が、田中角栄の「日本列島改造論」だった。この戦後からわずか 25 年で先進国に追いついたのだ。

いま我が国が行うべきことは、これからの 25 年間をこの修復にあてるべきだということだ。この長期戦略こそが我が国を再生するのだ。5 年 $\times$ 5 = 25 年。つまり、1 期 5 年の予算 5 兆円を 5 回、計 25 兆円程度を見込めば、1970 年代のインフラの現代化が実現できる。

この長期計画が、日本の若者を救う。地方には職場ができる。長期雇用が約束される。将来の計算ができる。人生の見通しが出来る。人生設計できる。したがって、男女が余裕を持って結婚恋愛できる。こういう状況に変わるのだ。

これは夢物語ではない。自然にそうなるのだ。インフラ修復の現代化だ。70 年代のアナログ技術だけではない。21 世紀のデジタル技術、AI 技術、スマホ技術、スーパーコンピュータ技術、あらゆるものが総動員されるのだ。つまり、1970 年代のローテクインフラ整備から、2021 年代のスーパーハイテクが使われるのだ。

たとえば、昔のセメントは耐用年数が決まっていた。しかし 21

世紀のいま研究しているセメントは自己再生修復セメントというものだ。亀裂が入れば、セメント自体が自動的に修復するのだ。

自己再生修復というものは UFO のボディーが行うシステムだ。この概念は、ロズウェルから来たのだ。自己再生修復ハウス、自己再生修復の橋、自己再生修復の道路、自己再生修復のビルディング。これがこれからのインフラなのだ。自己再生修復インフラ。これが 21 世紀が 22 世紀のために残すべきハイテクインフラだ。

わずか 25 兆円の予算がどれほどの経済効果を生むだろうか？

想像できない。

さあ、これをもう少し歴史的に詳しく見ていこう。

14.3 令和と昭和の類似点

2008 年に何が起こったか覚えているだろうか？

アメリカでサブプライムローンの崩壊のリーマンショックが起こったのだ。そのせいで、欧米社会はドツボの状態に落ちた。

それが意外にも、その後のわずか 10 年ほどの間に欧米は立ち直ったのだ。なぜならスマホやネットの時代になったからだ。ここで欧米は一気にデジタルバブル経済へと転換できたのだ。これまでの経済界や社会システムをデジタル化に変えることで、インフラ改革できたのだ。そのおかげで、いまの欧米や豪州やニュージーランドの給料は昔の 1980 年代の 2 倍から 3 倍まで跳ね上がった。

1970 年代後半から 1980 年代のバブルの全盛時代、我が国は「ジャパン・アズ・ナンバーワン」*2といわれた。その頃は、日

*2 エズラ・F・ヴォーゲル著/広中和歌子・木本彰子訳「ジャパン・アズ・ナン

本の円で給料をもらい、海外でドルで生活すれば、安く上がった。日本人女性は世界中を一人で旅行に行った。この頃の必須アイテムが「地球の歩き方」だった。海外で日本女性に会えば、必ずこれを持っていたのだ。

一方、アメリカは経済低迷していた。1980年代、松田優作の遺作になった「ブラック・レイン」*3がそれを物語った。アメリカは社会全体に活気がなくなり、何をしたいのかわからない暗黒の沈滞した時代だった。どことなく昨今の日本に似ている。

日本はバブル全盛、海外は経済低迷。そういう時代だった。

この時代の日本は、半導体産業すべてで世界を席卷したのだ。ラジカセ、テレビ、電化製品、白物家電、ワープロ、電卓、カメラ、ビデオ、すべて日本製が一番だった。だから、それらに必要なブラウン管、回路、フィルム、カセットテープ、CD、レコード、すべての記憶装置もまた日本製だった。これはアナログテクノロジーだった。

ところが、昨今は全くその逆になった。いまでは欧米のドルで給料をもらい、日本の円で生活すれば、遥かに全てが安くあがるのだ。しかも日本国内の生活の質は世界一なのだ。それで、欧米の白人種を中心になんとかして我が国を住処にしようと画策し始めたのだ。もはや我が国若者たちは結婚すらままならない。生活はかろうじて100円ショップやシママラに頼るほかないのだ。

この状況は、1945年の終戦以来、終戦直後の1960年代から学園紛争の時代の1970年代の状況に似ている。その時代の我

バーワン—アメリカへの教訓」(阪急コミュニケーションズ, 1979年).

*3 <https://ja.wikipedia.org/wiki/ブラック・レイン>.

が国はまだ戦後復興から高度経済成長の波に乗りかかる頃だった。まだまだ欧米に追いつくには時間がかかりそうな時代だったのだ。

つまり、我が国は1994年のバブル崩壊後の「空白の30年」で、1945年の終戦後の「復興の30年」とほぼ同じ状況に戻ったのだ。空白と復興、これはちょうど裏腹の関係だ。これが、昭和と令和の関係なのだ。

14.4 キャンディーズの誕生する前の時代

14.4.1 キャンディーズの奇跡

私は、昨年末からどういうわけかキャンディーズをメモしてきた*4*5。それからの数ヶ月、キャンディーズの昔のYouTube映像を追いかけて回したのだ。そこには、まさに失われた1970年代が現れた。まさに1960年代の所得倍增計画、そして、1970年代の日本列島改造論の端緒につき始めた頃の日本が映し出されたのだ。

そして、3ヶ月ほど毎日キャンディーズを聞いていると、面白いことが私に起こった。ごく最近まで私は昔のことが一切思い出せないでいたのだ。なのに、突如昔の小学校時代の情景、中学校時代のクラスメートの姿や教室、高校時代の様子、昔の山梨県甲府市の町並み、そういうものが蘇ってきたのだ。

実に不思議だった。

*4 キャンディーズ; <https://quasimoto3.exblog.jp/i51/>

*5 【日本列島修復論】令和と昭和の類似点：戦後復興の象徴、昭和の「所得倍增計画」「日本列島改造論」と令和の「所得倍增計画」「日本列島修復論」;
<https://quasimoto3.exblog.jp/240780740/>

あの時、いつどこでだれとなにをなぜどうしていたか？ When? Where? Who? What? Why? How? つまり 5W1H が、良いことも悪いことも全部きれいさっぱり思い出したのだ。

そして、あの浅間山荘事件の場面をテレビの前で釘付けで見っていた自分の姿を思い出した。私はあのシーンをずっとテレビ報道で見ていたのだ。巨大なクレーンに吊るされたあの巨大な鉄ボールが山荘をぶち抜く場面をそっくり思い出したのだ。

おそらく、YouTube を見つ続けたことが一種の退行催眠のようなことを起こしたのかもしれない。よく心理学者が記憶を失った人に対して、退行催眠という施策を試みる。被験者に催眠術にかける。昔に少しずつ戻らせる。そして、昔の記憶を取り戻す。それから、催眠を冷めさせる。すると、昔の記憶が蘇ったままの状態でいまに至る。きっとこれに近いことが起こったのだ。

ところで、キャンディーズの誕生する前の時代はどういう時代だったのだろうか？

14.4.2 終戦直後の GHQ 時代

1945年8月15日。我が国の本土は天皇陛下の玉音放送で終わった。本土の日本人はこれで戦争終結したと考えた^{*6*7}。

しかし、連合軍からすればそれは違う。彼らにはこれからが本番だった。日本の戦後処理だ。

^{*6} ドクター中松「日本の”終戦”」を語る！！：日本は負けていない、停戦したのだ！ 1；<https://quasimoto.exblog.jp/16781241/>.

^{*7} ドクター中松「日本の”終戦”」を語る！！：日本は負けていない、停戦したのだ！ 2；<https://quasimoto.exblog.jp/16781252/>.

黄色人種の本丸、日本国および日本人をいかに料理するか？

これが戦後の白人の仕事だったのだ。

そこで、米軍は終戦前からプログラムを計画してきた。それに沿って、一気に日本を畳みあげたのだ。それを一言で言えば、GHQ(General Headquarters) による「自虐史観計画」*⁸というものだ。目的は、黄色人種が今後二度と白人の前で大きな顔をさせないようにすること。心の根底から徹底的に日本人の精神を叩き潰すということだった。日本人が白人に二度と齒向かわないようにするのだ。米軍のダグラス・マッカーサー元帥はこのためなら何でも行ったのだ。

最初は日本陸軍、日本海軍、日本空軍の兵器や武器をすべて探しまくった。そして、日本軍の最新兵器や残存兵器を見つけ次第破壊しまくった。その一方で、必要な武器や兵器は持ち帰って研究材料にした。一番有名なのは、日本最高の潜水艦、伊4号*⁹だ。米軍はそれをハワイに持ち帰って研究した。そして、それを研究しつくしたら、沖合で破壊して捨てたのだ。

日本の古史古伝、天皇家の宝物、歴史的遺物、甲冑は持ち帰った。戦利品になるものは自宅に飾れるように持ち帰る。これが白人特有のメンタリティーだ。

日本の書物は集めて焼き尽くす。すでに大半は東京大空襲で焼き尽くされていた。しかし、運良くそれを逃れたもの、隠し持っていたものはすべて没収されたのだ。そして、アメリカに持ち帰られ、スミソニアン博物館やアメリカの公文書館の財産にされたのだ。盗

*⁸ War Guild Information Program, WGIP)

*⁹ <https://ja.wikipedia.org/wiki/伊号第四潜水艦>.

みだ。本当の文化盗用とはこれのことだ。これまた白人特有のメンタリティーだ。

戦後の教育を 180 度向きを変えた。これが戦後生まれの我々の受けた教育だ。日本人の「アイデンティティー」、これを破壊した。

彼らは日本人にこう教えたのだ。日本人はこの地球上でとくに特別な存在ではない。日本人は単なる黄色人種だ。日本人は世界にどこにも普通に数多くいる。日本人は他の有色人種と同じレベルの一民族にすぎない。白人だけが特別なのだ。白人が世界最高の人種なのだ。そういうふうに再教育されたのだ。

それが戦後の GHQ による洗脳だ。しかし、事実は前章に見たとおり。それが嘘だった。

14.4.3 GHQ の日本完全支配: WGIP

GHQ は戦後の日本のマスメディアを完全支配した。そのために、米白人種が行ったものは、日本国内のすべての大企業のトップを米国 CIA の手先、スパイにすることだった。

これは実際にその時代の暗号名 (コードネーム) が近年公開された^{*10}。いくつかその証拠^{*11}をお見せしよう。Cryptonym は匿名の意。

POAIM-12 → Cryptonym for Tsunezo Wachi. (和智恒蔵)

POBULK → Yomiuri newspaper, Japan (読売新聞)

^{*10} 「CIA 日本人ファイル」が公開されていた！: PODAM の神話「正力松太郎＝ポダム」は事実だった！; <https://quasimoto2.exblog.jp/238880601/>.

^{*11} 加藤哲郎著「米国国立公文書館機密解除資料: CIA 日本人ファイル 解説」
<http://netizen.html.xdomain.jp/CIAJAP.pdf>.

POCAPON → Cryptonym for Taketora Ogata. (緒方竹虎)
PODALTON → Free Japan Broadcast Productions. (自由日本放送)
PODAM → Cryptonym for Matsutaro Shoriki. (正力松太郎)
PODAUB → National Police Agency, Japan. (警察庁)
PODIVA → CIA Station. (CIA 日本支局)
POJACKPOT—1 → Cryptonym for Matsutaro Shoriki. (正力松太郎)
POLESTAR— 5 → Cryptonym for Eiichi Tatsumi. (辰巳栄一)
POLUNATE → Cabinet Research Chamber (CRC) of the Japanese Government. (内閣調査室)
POSHARK → Cryptonym for Fusanosuke Kuhara. (久原房之助)
POSONNET—1 → Cryptonym for Okinori Kaya. (賀屋興宣)

POMONA → Cryptonym for Kurt Reichert.
POPOV, Anton → Alias for Destan Berisha.
Popov, Lt. Col. Petr S. → CIA penetration of the GRU in East Germany.
Pope, Nikolai → Professor Karl BERGSTROM (pseudonym)

Aso. Tatsuo → STBRANT— 1 , TLBRANT, LFSALAD(cryptonyms).
Shoriki, Matsutaro → POJACKPOT— 1 and PODAM (cryptonyms). Associated with KMCASHIER Project.
Tatsumi, Eiichi → POLESTAR—5 (cryptonym).
Wachi, Tsunezo → POAIM—12(cryptonym).

TAKEMATSU → Plan TAKEMATSU(1940s/50s) was the operational plan of US Army G—2Far East Command in clandestine operations within Japan/peripheral areas using former Japanese intelligence personnel.
Seizo Arisue, Torashiro Kawabe associated with this plan. (タケマツ作戦)

KUBARK = CIA headquarters
ASCHAM = Allen DULLES (James Srodes, ALLEN DULLES, Master of Spies, Regnery, Washington DC, 1999, pp. 4 31—4 32.)
ODACID = United States Department of States/U.S. Embassy(米国大使館)
ODOPAL = United States Army Counterintelligence Corps(CIC)
ODYOKE = Federal Government of the United States(米国政府)
POGO = PO Japanese Government(日本政府)
POCAPON = 緒方竹虎 1955 年 5 月 29 日初出
PODAM = 正力松太郎

PODALTON = 「(正力) マイクロ波通信網建設支援工作 (1953 年 11 月 7 日)」

POHALT = 柴田秀利

POJACPOT/1 = 正力松太郎 → 「履歴ファイル」冒頭にあり

POSONNET/1 = 賀屋興宣 → 「履歴ファイル」冒頭にあり。1959 年 8 月 6 日初出

SR REP = senior representative、具体的には当時の CIA 北アジア地域上級代表

【未解明】BABOCM

Conweck, POROW (未解読、緒方竹虎ファイルの 1955 年「福岡同行記」に登場)

DYCLAIM (CIA?)

DYMACAO (FBI?)

IDEN

JAMI8

これを見れば、我が国の主要組織の重要な場所に PO~ のつく人物が居座っていることが解るだろう。この PO というのは、郵便ポストの Post から来ている。つまり、連絡メールを送るポストの意味だ。だから、GHQ 本部から指令が連絡メールとして郵便ポストに配達されるのだ。

アメリカ社会の場合、公的機関、企業、大学、研究所、学校、軍隊などの職員にはほぼ同じサイズの郵便ポストが与えられる。その雰囲気は日本のロッカーや、日本の小中高の下駄箱のイメージ近い。毎日その組織の秘書が、そこへ送られてきた郵便物を差し込むスタイルだ。この郵便物の中に、2 週に 1 回で 2 週分の給料の印字された小切手が入っている。アメリカの給料は伝統的に 2 週給制度である。その方が給与計算の手間が省けるからだ。私が通ったユタ大学もそうだった。

いま現在のデジタル化の時代は、すべて電子メールに変わったというだけで、基本は変わらないのだ。

14.4.4 GHQ の日本のマスメディア完全支配

そして、日本には特有の支配構造が出来たのだ^{*12*13}。ちなみに、

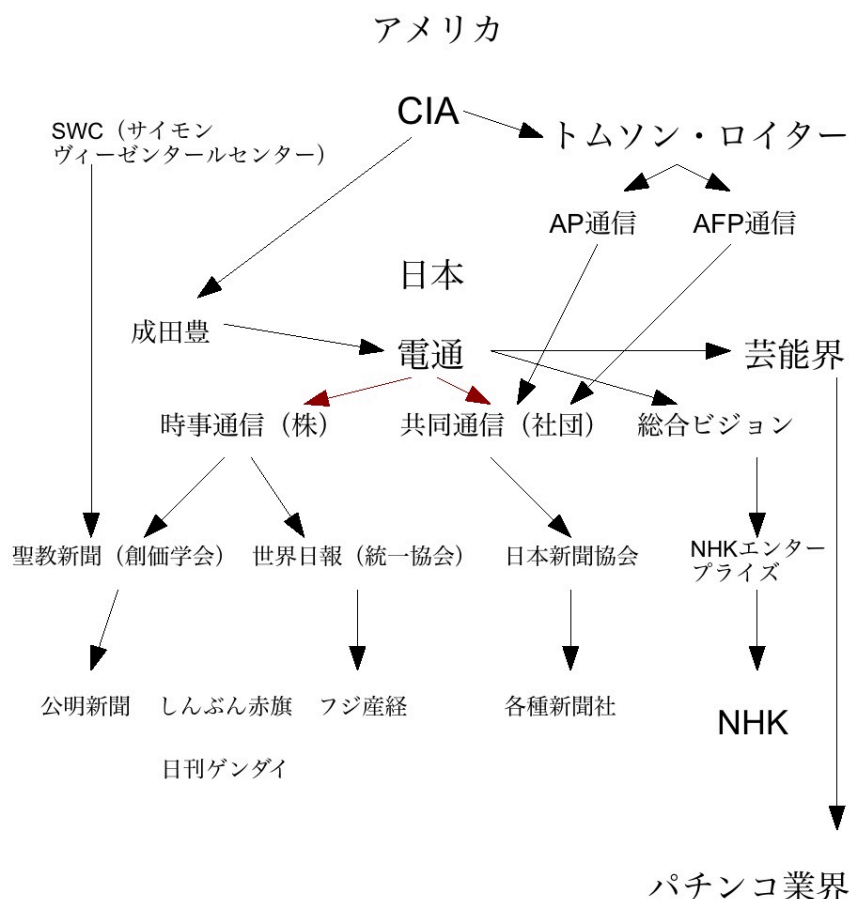


図 14.1 戦後電通による日本のメディア支配構造

<http://meidai1970.livedoor.blog/archives/1365784.html>

米 CIA は一番上のアメリカの部分に居座っている。この戦後は CIA は米シオニストの牙城だった。米シオニストは、かならずし

^{*12} 日本のマスゴミの支配相関図：ハブはやはり電通だった！！；
<https://quasimoto.exblog.jp/13253577/>.

^{*13} 電通「プランC、安倍政権下げ指令」出す！：電通ワールドはもはや過去の遺物！；
<https://quasimoto.exblog.jp/22611139/>.

もネオコンではない。

単純化すれば、ネオコンは米南部（共和党）中心。シオニストは米北部（民主党）中心である。オバマやヒラリーやバイデンは北部シオニスト。レーガンやブッシュやトランプは南部ネオコン。

マッカーサー当時日本に来たのは米シオニストだったのだ。当時のルーズベルト大統領やトルーマン大統領は民主党だった。つまり、アメリカの民主党のリベラル派のユダヤ人政権だったのだ。

彼らが日本国憲法を作り、電通を作った。だから、日本国憲法は平和憲法というより、シオニスト憲法の色彩が濃い。

しかしながら、従来の自民党は、終戦直後はともかく米ネオコンの下僕だった。いま現在は米シオニストとネオコンの間を綱渡りしている最中である。

つまり、いま現在の「第一生命本社ビル」のその場所こそ、終戦直後にダグラス・マッカーサーの米進駐軍指令本部が陣取った場所だったのだ。

電通は7兆円企業の超大企業だ。

その電通の事業部の呼び名を聞いたことがあるだろうか？

呼び名は、「連絡部」という。

普通の日本企業は「～事業本部」とか「～事業部」という呼び名だ。それが、電通の場合、第1連絡部、第2連絡部、第3連絡部、第4連絡部^{*14}のようになる。

^{*14} 第4連絡部は幽霊組織だ。日本人を陥れる場合の特別な作戦があるときだけ作られる。ミッションインポッシブルのような組織だと言われる。ロッキード事件やリクルート事件とか、～～疑獄事件を作る。新聞記者が事件を取材し、それを新聞社が公表し、その捏造記事に従って、特捜部が動き、最後の警視庁が逮捕に向かう。場合によっては自殺に見える他殺で消す。一連の流れるような作戦だ。こういう方法でアメリカ白人に歯向かう日本人を排除した。



図 14.2 戦後 GHQ による日本のメディア支配構造
東京都千代田区有楽町 1 丁目 1 3 - 1. ここにメソニックカバラ数字「3 1 1」がある。
<https://quasimoto.exblog.jp/22611139/>

なぜ電通は連絡部というのか？

それは、ダグラス・マッカーサーの GHQ による指令の連絡というスタイルがそのまま残ったからなのだ。マッカーサーが命令を紙に書く。すると、秘書や部下がそれを当該管轄部の郵便ポストに入れる。あるいは、直に手渡す。このスタイルが電通にはいまでも残るということなのだ。

平成以後、それがアメリカのためから在日朝鮮人のために変わったのだ。

そして、日本国内では、電通から指令が「プラン A」という形で出される。それがうまくいかない場合は、代替プラン「プラン B」が送られる。それすらうまくいかなかった場合、第 2 代替プラン「プラン C」が出されるのだ*15。

【重要 各位厳守のこと】

御存知のように、本日 6 月 2 日にプラン C が発動されました。

つきましては、かねての手順どおりに行動していただくようお願い申し上げます。

念のために、大まかな指針を記入しておきますが、確認後は即時ご処分ください。

1. 今週一杯は代表選・組閣で民主党を持ち上げること。
 2. 来週一杯は新総理・新閣僚の紹介で民主党を持ち上げること。
- (この間郵政改革法案強行採決があるが無視すること)
3. 14 日から 16 日までは終盤国会の新閣僚奮闘で持ち上げること。
 4. 17 日から 23 日までは国会閉会後の民主党新人候補の活動中心に報道。
 5. 24 日の参院選告示後は、公平な報道に尽力すること。

そしてマスゴミの指令ネットワークに従って、情報が流れる。これが我が国のメディア支配構造なのだ。

*15 「プラン C」発動、マスゴミの世論操作計画か！？：ここまで落ちた日本のマスゴミ；<https://quasimoto.exblog.jp/12795794/>。

14.4.5 終戦直後の日本人の生活

こうして、電通を通じた米国による日本の完全支配の最中、日本人はとにかく復興を目指した。まずは食料。闇市時代だ。この時代は、美空ひばり^{*16}さんが子役で登場した白黒映画「悲しき口笛」^{*17}の時代だ。彼女の初期の映画にその息吹が記録されいてる。

まず食うものがあって、雨風をしのげる場所が欲しかった。この頃は、帰還日本兵は今の浮浪者のように路上で寝泊まりしたのだ。だから、次は住む家だ。

日本人は、東日本大震災後のように、終戦後の焼け野原を片付けた。生き残った人たちが、自分の家のあった場所をそれぞれ片付けた。

なぜなら、田舎以外はすべて瓦礫になったからだ。我が家の先祖は、山梨県甲府のど真ん中に家があった。甲府市内は無残にも B29 による絨毯爆撃^{じゅうたんぱくげき}の餌食になった。甲府市のほとんどすべてが消失したのだ。我が家の先祖の家も見事に灰になった。

昨年 2020 年 4 月 5 日、私の父親が 92 歳で逝去した。新型コロナ下の葬儀だった。だから、家族葬という身内だけの形になった。山梨を代表した地場産業の社長の葬儀としては極めてひっそりしたものになった^{*18}。

その葬儀とき私の叔母と何年かぶりで会ったのだ。そこでいろいろ昔から一度聞きたかったことをいくつか詳しく聞いたのだ。それ

^{*16} http://www.misorahibari.com/?profile_list=1940.

^{*17} <https://ja.wikipedia.org/wiki/悲しき口笛>.

^{*18} ; <https://quasimoto3.exblog.jp/240233678/>.

で私に関心を持ったのか、その後叔母が自分史というものを送ってくれたのだ。その時は私は知らなかったが、ちょうどその頃、叔母が自分の定年退職までの人生の履歴をまとめた、自分史という本を出版したばかりだったのだ。私が見れば、戦後の甲府市の瓦礫の中でどういう生活だったかよく分かる作品だった。

一家の中で男という男たちが山へ入って木々や竹を集めて家に戻る。そして、家の敷地内に掘っ立て小屋を建てるのだ。とにかく雨風さえ防げたらなんとか最低限の生活ができる。中は1部屋でみんなで雑魚寝だ。川の字になって寝る。まさに昔の縄文時代の家に様変わりだ。プライバシーなんていうものはない。これが、終戦直後の日本人の生活だったのだ。我々の父母はここから出発したのだ。

驚くことに、終戦が8月15日。家は消失し、瓦礫の山。食料はまったくない。そこから始まった。それが、家は掘っ立て小屋になる。すると、もう秋学期から叔母たち学生は学校に通い始めたのだ。

GHQの日本政府への差し入れ物資は、学校を中心に配布された。学校へ行けば子どもたちはなんとかなる。そういう感じだったようだ。米国人は、この日本人の献身的な姿に圧倒されたようだ。

かつて私の尊敬する米国の数学者にハーヴェイ・コーンという数学者がいた。彼と文通した時、彼はいつしか私が日本人だということを知った。すると、自分が米軍兵として戦後のGHQの兵隊として東京に駐留した日々のことを書いてきたのだ。

彼が何より感心し、すごいことだと思ったことは何だったか？

それは、その当時の日本人が何一つ誰一人を文句を言わず、ただひたすら戦後の復興を目指して日夜休まず勤勉かつ献身的に働いていたことだという。「日本人には圧倒されたよ」これが彼の言葉だ。

我々の父母の時代の日本人には、家族や友人知人の多くの戦死者がいる。その中、幸い生き延びた日本人として、自分にできることを少しでも多くやること。そうやって死者への供養をすること。こういう思いだったのだ。決して自分さえ良ければいい。そういう民族ではないのだ。

朝鮮人なら、すぐに他所の国へ逃げる。日本へ逃げる。アメリカへ逃げる。彼らは、すぐに逃げるのだ。だから、戦後朝鮮半島から日本へ逃げた朝鮮人は数百万人もいる。同様にアメリカへ逃げた朝鮮人は延500万人ほどいるのだ。いまアメリカに生存しているのは170万人ほどいる。

同様に白人はすぐに逃げる。彼らはそれを冒険あるいは探検に行くと言い換える。冒険や探検という脱出だ。いま日本にやたらと来たがる。自分さえ良ければ、自分が育ったその土地や国や家族や友人のことなど、どうなってもいいのだ。

これがラグビーにそのまま出ている。ラグビーは英国白人のスポーツだ。自分の出たい国の代表になる。実に白人的思想のスポーツなのだ。

日本人にはそういう特質はない。縄文人にもない。我々は普通自分が生まれた故郷から離れない。離れたとしてもそこをずっと大切に思い続ける。生まれたその土地を愛する。生まれたその自然を愛する。これが日本をここまで発展させてきたのだ。これこそが日本を維持してきた心のルーツなのだ。

日本人は農耕民族だ。生まれた土地を愛する。土地に留まる。西洋白人は狩猟民だ。生まれた土地を捨てる。土地を移動する。ここにすべての違いが現れているのだ。それがすでに脳の違いにもなっているのだ。前章に見たとおりだ。

14.5 朝鮮進駐軍による日本人虐殺

この頃、大暴れした奴らが、同時に朝鮮半島から侵入した朝鮮人だ。彼らは朝鮮進駐軍^{*19}を名乗った。



図 14.3 朝鮮進駐軍

<https://ja.wikipedia.org/wiki/朝鮮進駐軍>

そして、米軍に取り入って横流しの武器弾薬を手に武装していたのだ。そして、武器解除した旧日本兵、一般人、婦女子にやりたい

^{*19} <https://ja.wikipedia.org/wiki/朝鮮進駐軍>.

放題のことをしたのだ。男性に対しては暴力、略奪、殺害、女性に対して暴力、集団レイプ、強姦、殺害^{*20}。

これが戦後のヤクザの発祥だ。戦後の朝鮮ヤクザは、見かけは似ているが、清水次郎長や黒駒の勝蔵のような日本伝統の渡世人とは全く異質なのだ。事実、日本国内の朝鮮ヤクザはごく最近米 CIA から名指しで日本人ではないことを暴露されたのだ^{*21}。

在日朝鮮人は、目抜き通りを自分のものにした。在日朝鮮人は、生き残った老舗の老夫婦を殺して財産や土地を奪い取った。特に駅前の一等地の商店街が彼らに狙われたのだ。この跡地が在日朝鮮人の住処になった。それが後にパチンコ店になったのだ。だから、日本全国の駅前の一番いいところがパチンコ屋になったわけだ。事実、マルハンやセガサミーの社長は在日朝鮮人だ。それにみるように、パチンコの経営者の大半が在日朝鮮人なのだ。これが平成以後ボディーブローとなって日本社会を陥れることになるのだ。

14.6 大学紛争の時代

それでも日本人は、なんとか困窮の 1950 年代をやり過ごした。これが戦後 55 年体制^{*22}の中身だったのだ。

ちょうどこの頃、1957 年 10 月 4 日ソ連のスプートニク・

^{*20} 朝鮮進駐軍の非道を忘れるな！ 3 万人の朝鮮人からなる犯罪組織「朝鮮進駐軍」が、戦後の混乱期に強姦、殺人、公的機関への襲撃、不動産の不法占拠などの犯罪を起こし、GHQ の資料にあるだけでも最低 4,000 人の日本人が殺されたのだ。

^{*21} 米財務省「ヤクザ企業に狙い」山口組系会社に経済制裁;
<https://www.asahi.com/articles/ASLB313C8LB2UHB102W.html>.

^{*22} <https://ja.wikipedia.org/wiki/55年体制>.

ショック*²³が起こる。このショックが全世界に駆け巡る。そして、私の父がそれを見ていた。この9日後の10月13日に私がこの世に誕生したのだ。だから、「スプートニクが平和に1基打ち上がった」ということから、父は私の名前を「和基」と命名したのだ。つまり、私は生まれたときから宇宙船の「基」が入っていたのだ。

そして1960年代に入る。この時期は、我が国の戦後復興から、池田勇人首相による国民所得倍增計画*²⁴の時期にある。1961年から1971年までの10年で国民所得を26兆円アップするのだ。

その途中の1960年代に米ソ冷戦下のベトナム戦争が起こった。その悲惨さの中で、アメリカで反戦運動が現れた。それは多くはアメリカのリベラルな大学から発生した。

我が国の大学生の一部がこれを聞き知った。この時代は敗戦の影響や、ソ連コミンテルンの影響で、共産主義に傾倒した左翼系の学生たちが多く現れた。彼らが大学紛争*²⁵を起こしたのだ。これが大学紛争だった。これが大学内の学生運動*²⁶を激化させた。

学園紛争は1969年の東京大学の安田講堂事件*²⁷で大学紛争は幕を閉じた*²⁸。

この頃、元民主党の菅直人は東京工業大学の学生であり、同じく元民主党の仙谷由人は東京大学の学生であった。彼らは共に全共闘

*²³ <https://ja.wikipedia.org/wiki/スプートニク・ショック>.

*²⁴ <https://ja.wikipedia.org/wiki/所得倍增計画>.

*²⁵ <https://ja.wikipedia.org/wiki/大学闘争>

*²⁶ <https://ja.wikipedia.org/wiki/日本の学生運動>

*²⁷ <https://ja.wikipedia.org/wiki/東大安田講堂事件>

*²⁸ 全 共 闘 東 大 安 田 講 堂 事 件 - 1969;
<https://www.youtube.com/watch?v=3itnXEr7kLM>.



図 14.4 1969 年 安 田 講 堂 事 件

<http://meidai1970.livedoor.blog/archives/1365784.html>

のメンバーであった。菅直人は東工大の大学紛争のリーダーになり、仙谷由人は東大の大学紛争のリーダーになっていたのだ。仙谷由人は安田講堂事件の際、屋上から火炎瓶を警察機動隊に投げつけた。この事実は長らく秘密にされた。そして、学園紛争後の高度成長に時代になって、彼らは日本に帰化し、国会議員への道、政治家になることを目標にしたのだ^{*29}。

さて、大学闘争の過激派は活動拠点を大学外へ移してしまったの

^{*29} 仙谷由人研究：菅直人の学園紛争の盟友。生涯 2 人でマッチポンプ！？；
<https://quasimoto.exblog.jp/14564658/>.

だ。彼らは連合赤軍を形成した。1972年、国内では浅間山荘事件^{*30}、海外ではイスラエルのテルアビブ国際空港の乱射事件^{*31}を起こしたのだ。

つまり、我が国は、昭和20年1945年に終戦し、戦後の瓦礫から復興を目指してきた。それから25年～27年、わずか約30年ほどでキャンディーズの時代に入ったということなのだ。キャンディーズはその頃学校へ入り、1974年に芸能界デビューしたのだ。

14.7 カチャルスキー博士

ところで、イスラエル人化学者のアーロン・カジア・カチャルスキー博士を知っているだろうか？

アーロン・カジア・カチャルスキー博士^{*32}は、ノーベル賞学者のラルス・オンサーガー博士^{*33}の弟子の一人だった。私はこの博士の論文や本をたくさん持っている。彼は生物物理学において非常に重要な理論を生み出したからなのだ^{*34*35}。彼らのグループはオ

^{*30} <https://ja.wikipedia.org/wiki/あさま山荘事件>

^{*31} <https://ja.wikipedia.org/wiki/テルアビブ空港乱射事件>

^{*32} Aharon Katzir-Katchalsky, September 15, 1914 – May 30, 1972; https://en.wikipedia.org/wiki/Aharon_Katzir; <https://www.msz.co.jp/book/author/ka/16557/>.

^{*33} Lars Onsager, 1903 年 11 月 27 日 - 1976 年 10 月 5 日; <https://ja.wikipedia.org/wiki/ラルス・オンサーガー>. 1968 年にノーベル化学賞を受賞した.

^{*34} A・カチャルスキー著/ピーター・F・カラン著/青野修訳/木原裕訳「生物物理学における非平衡の熱力学」(みすず書房; 新装版, 2017年).

^{*35} 今井雄介著, G.F.Oster 著「回路網熱力学—生物物理系の動的模型化」(喜多見書房, 1973年)



図 14.5 アーロン・カジア・カチャルスキー Aharon Katzir-Katchalsky, September 15, 1914 – May 30
https://en.wikipedia.org/wiki/Aharons_Katzir

ンサーガーの不可逆過程の熱力学を基に、それを生命に応用して理解する方法を構築しつつあったのだ。ところが、彼は理論の基礎を構築し、これから実際に生命に応用していこうという矢先にテルアビブ国際空港の銃乱射事件に巻き込まれたのだ。そこで彼は即死した。これで彼の理論が日の目を見る機会を失ったのだ。

彼を殺したのはアラブテロ組織ということになっている。しかし、その中には日本の連合赤軍のメンバーが混じっていたのだ。いかに大学紛争が共産主義のコミンテルンの影響を受けていたか解るはずだ。

実はいまからその時代を振り返ると、大学紛争の本当の姿が解るのだ。あれは、北朝鮮のコミンテルンが起こした騒動なのだ。当時、二世世代が日本に帰化し、日本人学生になっていた。多くの在日朝鮮人が北朝鮮の指令を受けていた。その彼らが日本人学生になりすましたのだ。そして、彼らは日本学生といっしょになって大多

数の一般の日本人学生を先導したのだ。そうやって日本社会に大混乱を起こさせることが目的だった。アメリカのベトナム戦争のような状況を起こしたかったわけだ。その目的は日本社会の弱体化だ。最終的には天皇制を破壊することだ。そして、その当時の活動家の学生たちが、大学紛争が集結した途端、今度は政治家志望へと矛先を転じたのだ。それが、菅直人や仙谷由人に代表される民主党の議員だった。社会党は北朝鮮の工作員が生み出した政党だった。

だから、いま見る通りの政治状況になったわけだ。野党は何一つ日本人のことを思わない。彼らは日本のためになることを考えないのだ。国会や人前で堂々と朝鮮飲みを行うのだ。

14.7.1 岡潔の戦後日本批判講演

ちょうどこの頃だ。岡潔博士が文化勲章を受賞した。そして、日本全国で講演した。そこへ左翼唯物思想に染まった学生たちが入ってきた。それに対して、岡潔博士は実に厳しく叱咤したのだ。この頃すでに、彼は、戦後にできた、日本国憲法、教育基本法、学校教育、育児などを痛烈に批判したのだ。いかに「第二の心」を失っているかと。アメリカ追従がいかに間違っているかと。

それらは、だいたい以下の講演録に入っている。

「風変わった憲法」、

「人類自滅の危機」^{*36}、

「人とは何か」^{*37}、

^{*36} <http://www.okakiyoshi-ken.jp/oka-jimetsu00.html>.

^{*37} <http://www.okakiyoshi-ken.jp/oka-13-00.html>.

「心そのもの、命そのもの」*38、
「秋が来ると紅葉」*39、
「嬰兒に学ぶ」*40、
「何も知らないのに」

14.8 戦後復興の順番

第二次世界大戦後の1950年代は、アメリカが一番最初に復興を遂げた。それもそのはずだ。なぜならアメリカは欧州やアジアやオセアニアや東南アジアで戦争を行った。だから本国は無傷だった。

それに対してイギリスはナチスドイツからの爆撃を受けた。UFO フーファイターの攻撃すら受けたのだ。さらにはジェット機爆弾やロケット爆弾 V 2 号の攻撃を受けた。だからイギリス本国はそれなりにかなりの損害を受けた。一方、ドイツはアメリカからの大空襲を受けて殆どが崩壊した。

我が国は1945年までの米軍最先端爆撃機 B 2 9 の無差別爆撃で都市という都市が崩壊した。そして、1945年の8月6日に広島原爆、8月8日に長崎原爆で崩壊した。満州や朝鮮は比較的無傷だったが、終戦直後に武装解除した時期に日ソ不可侵条約を無視したソ連のロシア人が侵略し、日本の領土ではなくなった。

東南アジアでは、終戦後、欧米の元の宗主国が領土奪還に入った。それに対して、日本軍は現地の独立のために戦争を起こしたのだ。

*38 <http://www.okakiyoshi-ken.jp/oka-14-00.html>.

*39 <http://www.okakiyoshi-ken.jp/oka-15-00.html>.

*40 <http://www.okakiyoshi-ken.jp/oka-16-00.html>.

せつかく日本軍が現地人の国家が独立できる段階まで育成したのに、元宗主国に奪還されたのではなかったものではない。それで、帰国要請のあった日本兵の一部は現地で運命をともにする決心をした。戦後数年間現地に残った彼ら日本兵は現地のそれぞれの国々の独立を後押しして戦士した。そのかいあって、それぞれの国々が戦後数年で独立できることになったのだ^{*41}。さもなくば、また欧米の植民地へ逆戻りだったのだ。

そういう事情から、アメリカの次は 1960 年代にイギリスとフランスが復興した。それから 1970 年代に日本が復興し始めたのだ。ドイツはちょっと遅れて 1980 年代に完全に復活し始めたのだ。当時のドイツ人は、すぐに復興への道を築き始めた日本人を見てこういった。「日本人はもう一度戦争してみろ」

14.9 ビートルズの時代

そんなわけで、戦後すぐ 1950 年代のアメリカに最初の伝説のアイドルが現れた。それがエルビス・プレスリーだった^{*42}。

次の 1960 年代のイギリスには男子 4 人組の伝説アイドル、ビートルズ^{*43}が現れた。そして、1970 年代の我が国には、女子 3 人組の伝説のアイドル、キャンディーズが現れた。いま昔を思い出して分析に直せば、ビートルズとキャンディーズとには多くの

^{*41} 【インドネシアの伝説】「東から黄色い人がやってきて白人から救ってくれる」→昔は侍が葡西をやっつけ、現代では日本兵が英蘭をやっつけた！ そういう運命なんだな！ ； <https://quasimoto3.exblog.jp/240532638/>

^{*42} Elvis Aron Presley, 1935 年 1 月 8 日 - 1977 年 8 月 16 日；
<https://ja.wikipedia.org/wiki/エルヴィス・プレスリー>。

^{*43} <https://ja.wikipedia.org/wiki/ビートルズ>



図 14.6 ビートルズ v s キャンディーズ
【キャンディーズ】ビートルズ v s キャンディーズ：どちらも永遠です！
<https://quasimoto3.exblog.jp/240888100/>

共通点や対応点が見られるのだ*⁴⁴。なぜなら、1960年代のイギリスでは英米の英語圏を中心に「ビートルズ現象」が起こったように、1970年代の我が国は「キャンディーズ現象」が起こったからなのだ。これらはまさに、1950年代に北米で起こった「プレスリー現象」のようなものだったのだ。これらが現象といわれたのは、そこら中で若者の少年少女がアイドルを追いかけ回したからだ。

つまり、戦後の我が国では、エルビス・プレスリーが1950年代のGHQ時代のWGIP時代を象徴するのだ。ビートルズが1960年代の池田隼人の国民所得倍増を象徴するのだ。キャンディーズが1970年代の田中角栄の日本列島改造論を象徴するのだ。ソ

*⁴⁴ 【キャンディーズ】ビートルズ v s キャンディーズ：どちらも永遠です！ ;
<https://quasimoto3.exblog.jp/240888100/>.

グループ	ビートルズ	キャンディーズ
時代	1960年代	1970年代
国	英国	日本
人種	英白人	日本人
言語	英語	日本語
都市	リバプール	東京
性別	男子	女子
人数	4人	3人
開始年齢	20代前半	10代後半
メンバー	ジョン・レノン22 ポール・マッカートニー20 ジョージ・ハリソン19 リンゴ・スター22	伊藤蘭18 藤村美樹17 田中好子17
デビュー年	1962.10.5	1973.9.1
誕生場所	教会のガーデンパーティー	渡辺プロの東京音楽学院
ジャンル	グループサウンド	アイドルコーラス・グループ
演奏	自分たち	MMP&スペクトラム
活動期	7年半	4年半
解散日	1970.4.10	1978.4.4
ファン層	世界の若者	日本の若者
ファンクラブ	ビートルズファン	全キャン連・キャンディーズカンパニー
おっかけ層	女子	男子
認知度	全世界	全日本
日本最終公演	武道館	後楽園球場
開催年	1966.6.30-7.2	1978.4.4
活動メディア	音楽 レコード コンサート テレビ音楽番組 映画	音楽 レコード コンサート テレビバラエティ・音楽番組・ラジオ・深夜放送 ミュージカル

図 14.7 ビートルズ v s キャンディーズの対応
 【キャンディーズ】ビートルズ v s キャンディーズ:どちらも永遠です!
<https://quasimoto3.exblog.jp/240888100/>

ニーのウォークマンが1980年代のバブル全盛期を象徴するのだ。そして、1990年代の宮沢喜一のバブル崩壊へ続く。それから、2000年代から我が国は怒濤の「空白の10年」「20年」「空白の30年」と進むわけだ。

14.10 キャンディーズの時代 1970年代

そして、日本社会はキャンディーズの時代へ入る。永遠のキャンディーズ。「キャンディーズは永遠です」のキャンディーズだ。これが栄光の1970年代だ。

ところで、キャンディーズのバックバンドを知っているだろうか？

彼らはMMPというバンドだった。60年代はビートルズ旋風、グループサウンズの時代だ。それに憧れて芸能界に入った、ザ・スパイダース^{*45}、ザ・タイガース^{*46}、ザ・ワイルドワンズ^{*47}が全盛だった。その元ワイルドワンズのキーボード、フルート奏者渡辺茂樹氏と金管楽器3人組が中心になって結成したのだ。その金管バンドのメンバーは、後にスペクトラム^{*48}を結成する人たちだ。

ところで、昨今このMMPに似た響きで、MMTというのがいま経済学や経済界では流行っているようだ。これは、現代貨幣理論^{*49}というもので、これが日本や世界の経済を救う、救世主のよう

^{*45} <https://ja.wikipedia.org/wiki/ザ・スパイダース>.

^{*46} <https://ja.wikipedia.org/wiki/ザ・タイガース>.

^{*47} <https://ja.wikipedia.org/wiki/ザ・ワイルドワンズ>.

^{*48} [https://ja.wikipedia.org/wiki/スペクトラム_\(日本のバンド\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/スペクトラム_(日本のバンド))

^{*49} <https://ja.wikipedia.org/wiki/現代貨幣理論>.

だと見られている。我が国では、三橋貴明さんが推進者信奉者で有名である。

我が国の借金は、国民に国債を売っている。だから、日本の借金は数字上だけでまったく問題ない。日本経済はいたって健全だという考え方である。

MMT の擁護者が三橋「3つの橋」と、3 という数字の名前というのが興味深い。むろん、キャンディーズは3人。バックバンドがMMP。何やら、こじつけ以外ののなものでもなさそうだ。しかし、響きが似ている。

14.11 田中角栄の日本列島改造論

また、1970年代は、田中角栄の「日本列島改造論」の時代だ。全国津々浦々の道路やトンネルやダムや河川や学校などの公共事業がコンクリート工事された時代であった。いま諸外国からのインバウンドがこういって感心する。日本の道路がきれいだ。日本の桜が綺麗だ。日本が素晴らしい。そういうイメージが出来上がっているようだ。この基本ができた時代がこの頃のことだったのだ。

田中角栄首相は小学校卒の土建屋上がりだった。だから、当初は自分の持ち会社のためにする施策ではないか？ という疑念が湧いた。しかし、目的はどうであれ、結果オーライだった。その施策のおかげで、我が国は高度成長期を迎えることが出来たのだ。この事実は無視すべきではなかったと思う。

田中角栄首相以前は、首相と言えば東大法学部卒の大蔵官僚出身者がなったものだ。しかし、小学校卒業しただけの土建屋首相が誕生した。だから、相当の反発があったのだろう。

しかし、東大エリートは戦前戦中戦後とあまり苦労しなかった。GHQ から目をつけられた官僚もすぐに要職に戻れた。

一方、軍人は戦前戦後で大きく生活が変わった。戦中では大半の日本軍人は戦死した。戦地で生き残った兵隊は命からがら帰国した。国内で生き残った元海軍士官はみな公務追放された。彼らは普通の職が取れなかった。普通は敗戦国の退役軍人に対しても年金が入るのだ。だから、元将校は最低限の生活保障されるのだ。しかし、米 GHQ は日本の退役軍人を完全に切り捨てたのだ。それで彼ら日本の旧軍人は路頭に迷った。元海軍大将の井上^{しげよし}成美は、地元で英語の先生をして生活の足しにしたのだ。

また、大学へすでに進学した大学適齢期の若者は、軍の研究所で勤務していた。だから、戦後すぐに大学へ戻れた。それ以外は野に下った。戦後の我が国の大学教授はこういう中央の名家や地方の豪族の子息だけだったのだ。彼らは皆若くして教授になれたのだ。上がいなくなったからだ。

また、大学前の若者は学徒動員で訓練を受けた。そしてこれからいざ特攻にいくという直前に終戦してしまったのだ。そういう若者は置き去りにされた。

したがって、GHQ のお眼鏡のかかった人間だけが戦後の良い生活が待っていたのだ。それ以外は、掘っ立て小屋を建てることから始まったのだ。だから、戦後の日本人は大なり小なりみな田中角栄と同じ道を歩んだわけだ。建築土建業から出直したのだ。

実際、私の父親は山梨県下随一の名門旧制甲府中学のトップだった。旧制松本高校の 1, 2 番だったと同僚の父の親友からいつも聞かれたものだ。そんな父でも戦後職がなかった。甲府は瓦礫だ。瓦礫の街はヒロシマ・ナガサキだけではなかったのだ。

だから、父は自分たちの住む掘っ立て小屋を自分たちで建てたのだ。そして自分の仕事場を自分の手で建てたのだ。その工場の横の3～4畳半程度のあばら家の部屋で私が生まれた時の家だったのだ。しかし、あまりに出産には適さない。だから、父は近所の富士アイスというお店のオーナーの家の座敷を借りた。父はそこに産婆を呼んで母が出産したのだ。私は他人の家で生まれたのだ。

その後も父は我が屋の初期の工場はみな自分で建てた。そんな父は54で脳梗塞を発症し右半身不随になった。そのリハビリからなんとか普通の生活できるようになった。そうして、すでに引退して70歳になった頃のことだ。

当時母は足の悪くなって銭湯にいけなくなった。その母のために父は家の中に風呂場を建てたのだ。父の身体がそういう作業を覚えていたのだ。今度の戦争を経験した日本人は、戦後の掘っ立て小屋からの出発した。それをみな身体が記憶しているのだ。

だから、戦前の東大官僚出身の首相たちは、戦後の東京裁判をうまく逃げ切り、見事政治家になった。そういう連中からすれば、田中角栄のような人間を理解できるはずがないのだ。

おそらくそういう意味合いだっただろう。私の父は田中角栄を非常に高く評価していた。だから、田中角栄が山梨県を訪問した際、地場産業の宝石業界の代表として会ったのだ。

この頃を代表する建築が、鉄筋コンクリートだ。

私がいま住んでいるこの家も築50年ほどの鉄筋コンクリートの家だ。私が甲府で小6から中高大学まで過ごした実家もまた鉄筋コンクリート工法の家だ。この家の周りには似たような同じ時代に最新建築として建てられた家がたくさんある。

しかし、徐々にそういう家は人が住まなくなっている。住ん



図 14.8 父井口実と田中角栄首相 1974 年甲府市内
【父の命日】「我が父の功績は永遠です！」いま振り返る我が父の山梨への貢献の数々！俺にはできんな。
<https://quasimoto3.exblog.jp/240914388/>

でいるのは老人だけだ。その子供の代、孫の代は県外に出た。その世代は外に家がある。だから、彼ら子や孫の世代はもう戻って来なくなったからなのだ。

今頃建てられた鉄筋の家はみな耐久年数をオーバーして劣化崩壊しつつある。しかしながら、このタイプの家は非常に強い。特に風雨に強い。台風や嵐程度で壊れない。おそらく、アメリカのトルネードやハリケーンでも壊れないだろう。地震でも倒れない。ただ、地震の場合は、亀裂が入る。

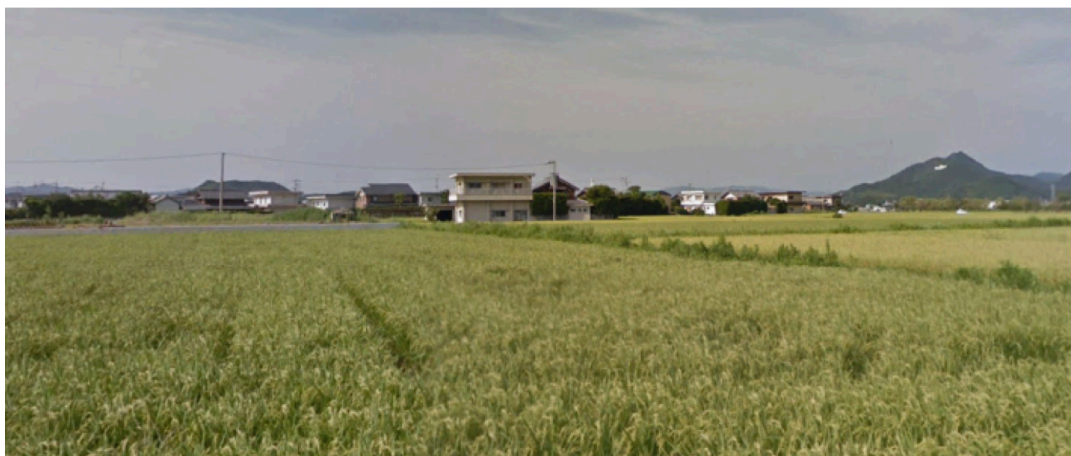


図 14.9 鉄筋コンクリートの家 (阿南市内)
【余計なお世話】「災害で家を失ったら、地方の空き家に
住もうじゃないか!」: まあ余計なお世話だろうが! ?
<https://quasimoto3.exblog.jp/239693562/>

この鉄筋コンクリート工法は地震の多い中東やハリケーンや竜巻の多いアメリカの中西部へも推奨できるだろう。今のアメリカの木造建築は、3匹の子豚のワラや木の家のようなものだ。レンガの家は地震の少ないアメリカなら問題ない。しかし、中東では無理だ。

そして民間人の鉄筋コンクリートの家と同様に、この時代に建てたインフラが崩壊しているのだ。

14.12 高度成長の1970年代

こうしてついに我が国は高度成長を迎える。それと同時に、1970年大阪万博が始まる。思い出せば、私は小6だった。夏の暑い中、一家5人で大阪万博に出かけたのを覚えている。我が家は京都

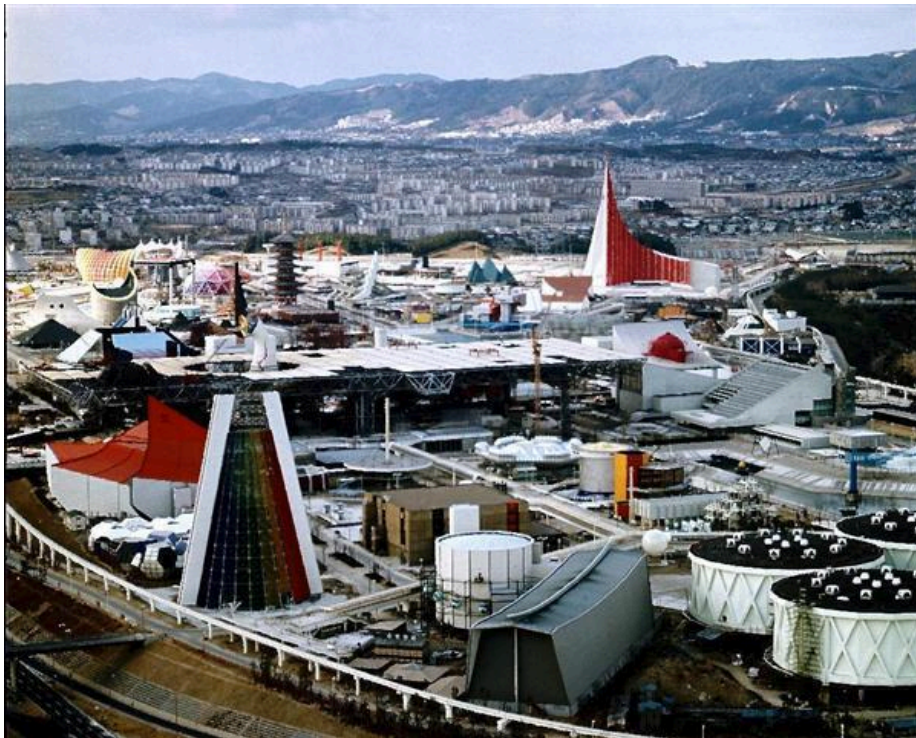


図 14.10 1970年大阪万博
<https://quasimoto3.exblog.jp/240334276/>

郊外の旅館に泊まった。アメリカ館の目玉が月の石^{*50}だった。これは、アポロ11号が持ち帰ったとされたものだった。日本人は、その小さな石を見るだけのために真夏の暑い中を外で2時間も行列を作って待ったのだ。本当にうだるような暑さだった。

いま思えば、母は太っていて血圧が高かった。きっと音を上げたはずだ。だから、とにかく母がどこかのレストランに入りたがったのを覚えている。それで、急遽我が家はドイツ館のレストランに入ったのだ。そのドイツ館のレストランのハンバーグがあまりに硬い。それで母と子供の我々は目を丸くして驚いたのだ。

まさにこれが我が国の高度成長の幕開けだったといえるだろう。

^{*50} <https://ja.wikipedia.org/wiki/月の石>.



図 14.11 1970 年大阪万博の「月の石」

<https://ja.wikipedia.org/wiki/月の石>

日本全国が計画経済に従ってインフラ整備に入る。社会は、昨年より今年、今年より来年、来年より再来年と計算できるようになる。こうなると、若者は中卒高卒大卒で就職した瞬間から永久就職になる。会社員は定年退職まで同じ会社で務めることが可能になる。むしろ、戦前にはそんな恵まれたことはなかった。こうして、戦後のベビーブームが到来するのだ。

人は将来設計出来ない限り安心して結婚できない。特に女性はそうだ。女性には出産授乳育児の期間がどうしても必要だ。さもなくば子供に良い影響がいかない。

戦後は、高校卒業したらすぐに結婚。あるいは、学校を卒業したら、就職して OL になるか、花嫁修業をするかの二者択一だった。大方の女性は、自分の家事手伝いを行い、花嫁修業をしたのだ。

1970年代の山口百恵さんと三浦友和さんの「赤いシリーズ」^{*51}がこれを描写している。実は、このドラマシリーズが1990年代以降の韓国のドラマ、いわゆる韓流ドラマのネタ本になったのだ。韓国や中国や台湾のドラマは、我が国のこの時代のドラマから大きな影響を受けたのだ。

この時期、私の父が地場産業の宝石画組合のために販売目的のレストランを建てた。レストランとその横の直販売店をつけたものだ。いまなら当たり前。しかし当時は県の規制がいろいろあってそういうものは珍しかった。それがレストラン・ダイヤモンド^{*52}だったのだ。これを見れば、いかに私の父が大阪万博の影響を受けていたか解るに違いない。

私はこのレストランの構想の段階から知っていた。中学生から高校生になる時期だったと思う。父がある日、竹ひごでダイヤモンドの立体模型を持ち歩いていたのだ。何をするのかと聞くと、こういう形の建物を建てるというのだ。その竹ひごのダイヤモンドを押して、ダイヤ構造だからこれは強いぞ。絶対に建つと言っていた。

本当は父はこの形のままポツンと大きなものを建てるはずだったのだ。その中に販売所も作る。まさに大阪万博のパビリオンだ。しかし、建築会社が倒れたら困ると恐れたのだ。それでしょうがなく、つつかえ棒のために真横にごく普通の建物を貼り付けたのだ。その結果、スター・トレックのような妙な形になった。

その10数年後、私がユタ大大学院に入った頃、物理学部がこれと似たようなスタートレック型だった。ユタ大の場合は、単なる円

^{*51} <https://ja.wikipedia.org/wiki/赤いシリーズ>.

^{*52} ファミリービジネス3：宝石企業団地とレストラン・ダイヤモンド;
<https://quasimoto.exblog.jp/21283496/>.



図 14.12 レストラン・ダイヤモンド
1973年甲府バイパス横に建った。
<https://quasimoto3.exblog.jp/240914388/>

柱形ビルが張り付いていた。

14.13 キャンディーズ現象

一方、キャンディーズがお茶の間のテレビを席卷したのだ。NHKの歌謡番組のアシスタントでデビューした。そしてすぐに、ザ・ドリフターズ「8時だよ全員集合」のアシスタントになる。そして、そのレギュラーになる。歌手でもデビュー。こうして、キャンディーズ現象を起こすのだ。

朝は、8時の結婚式場のラジオ番組で始まる。それが「GoGo

キャンディーズ」だった^{*53} ^{*54}^{*55}。午前午後は地方でミュージカルコンサート。コンサートは大満員で、大声援、大喝采^{*56}。どこへ行っても若い男性ファンが山のように駆けつける。夜ご飯時は、お茶の間テレビ番組でバラエティショー。夜更けは、うた番組や歌謡ショー。そういうものがない時は、レコード録音。新曲の歌や振り付けの練習。真夜中から午前3時まで、駆け出しのコメディアン連中のラジオの深夜放送オールナイトニッポン。当時、タモリ、所ジョージ、自切俳人、鶴光その弟分の鶴瓶が売出し中だった。

それ以外にもファンクラブのファンサービス。ファンの高級レストラン招待。全国キャンディーズ連合(全キャン連)の活動。富士山の朝霧高原キャンプ場バスツアー^{*57}^{*58}。

いったいいつ眠るのか？ 何時間眠るのか？

そういう感じの大活躍だったのだ。

1974年9月1日にデビューし、1977年7月17日に解散

^{*53} GO!GO!キャンディーズ(ゴーゴーキャンディーズ)は、1976年6月20日から1978年4月2日まで、文化放送の制作で、NRN系列のラジオ局で放送されていたラジオ番組。略称は「GOキャン」(ゴーキャン)。

^{*54} 【キャンディーズ】Go!Go!キャンディーズ第1回 1976年6月20日「ただいま、花嫁修業中」「あ～あ、結婚した～～い！」；
<https://quasimoto3.exblog.jp/240891082/>。

^{*55} Go!Go!キャンディーズ 第1回 1976年6月20日；
<https://www.youtube.com/watch?v=CgtdsIcvjSo>。

^{*56} キャンディーズ - 01. ハートのエースがでてこない / Candies Live at Sabo-Kaikan 1；
<https://www.youtube.com/watch?v=S5n1FxBqRgg&list=PLUXnK57NMn6MU>

^{*57} 【キャンディーズの時代】独占密着取材！！朝霧高原に熱狂的ファン2000人が集結！！→俺「こんな企画ができたんですナ！？」；
<https://quasimoto3.exblog.jp/240817767/>。

^{*58} キャンディーズ in 朝霧高原 1977 Candies in asagiri Plateau；
<https://www.youtube.com/watch?v=1wFgtkQYgs0>。

宣言^{*59}。そして、1978年4月4日に解散ファイナルコンサート^{*60}。たった4年半で疾風怒濤の印象を残して去ったのだ^{*61}。

14.14 バブル全盛時代1980年代

14.14.1 ディスコブーム

キャンディーズの後釜は、ピンクレディー。山口百恵、そして松田聖子の時代変わる。さらに、森高千里、こうしてバブル全盛の時代へ変わるのだ。この頃は、銀行は誰でもかわずカネを貸す。そういう時代に入った。そして、若者はドレスアップしてディスコへ行った。

産業は我が国が電気産業のすべてを席卷したのだ。この時代、アメリカは我が国を「日本株式会社」と揶揄した。そして彼ら白人にとって日本人は一見尊大に見えた。そして、その頃のドイツはまだ低迷中だった。だからドイツ人は「日本はもう一度戦争したら良い」とまで言った時代だったのだ。

世界のどこへ行っても日本女性が歩いていた。みなある程度のお金を持っていた。いまの北欧や豪州の若者のようだ。

^{*59} 解散宣言～ https://www.youtube.com/watch?v=T_YWl2NYxW0&t=82s.

^{*60} 三人のラストメッセージ / エピローグ (つばさ) ファイナル・カーニバル For Freedom; <https://www.youtube.com/watch?v=z21Z4J2oyDE>.

^{*61} <https://quasimoto3.exblog.jp/i51/>.



図 14.13 1980年代空前のディスコブーム
到来マハラジャでワンレンボディコンで踊る
<https://kantake.net/バブル期のディスコブーム/>

14.14.2 私のバブル全盛時代

ちょうど私はこのバブル全盛時代が、大阪大学基礎工学部大学院の修士博士課程の時代に重なった。だから、ほとんど勉強と研究とアルバイトの塾講師の生活という毎日だった。日本の5年ちょっとがそれで終わってしまった。

この2年目すぎあたり、博士の1年になった頃、父が54歳で脳梗塞で倒れた。真夏の暑い日に甲府から群馬に出張中、自動車で移動中のことだった。幸い地元の人が運転してくれていた時だった。だから、地の利に詳しく、異変が起きた時に地元の病院へ駆けつけてくれた。その人は自分自身がそれに気をつけていた人だった。だから脳梗塞の初期症状をたまたまよく知っていたのだ。それで父は命だけは助かった。しかし、その後、1年寝たきりになった。その

後は歩けるようになったが、杖をついて歩く毎日になった。当然、それまでの社長業は出来ない。母は看病で手一杯だ。もう仕事には戻れない。足は悪い。我が家はこのバブル全盛期に廃業になった。

そのため、私はかなり切羽詰まった状況になり、遊びどころではなくなった。私はそれまでは比較的優雅にやっていたのだ。とにかく、一刻も早く博士になりたかった。ところが、私は入学時から指導教官とは馬が合わなかった。さらにそれが研究テーマで対立するようになってしまったのだ。とにかく彼のくれるテーマは簡単すぎてつまらなかった。それで、結局自分でやってみて論文出せば博士にしてやるということだった。もう手に負えない。だから、私は放り出されたわけだ。

博士の3年目、院に入って最後の5年目についていくつか論文をかける所まで来た。その頃、私は自分自身で非常に面白いと思うことをいくつか発見した。それですぐに計算し、それらを論文にしたのだ。それでそれらを2, 3のプレプリントにして投稿した。しかし、それが受理されるまでに博士課程の規定の3年が過ぎてしまった。これを過ぎると奨学金が消える。博士号をもらっていなかったもので、その後のあてがない。

それで、その論文を共著のポストオーバードクターの人にあげた。彼はもうかなりのオバードクターだったからだ。彼はそれをアメリカのバッファローにいる日本人教授へ送ったのだ。すると、運良く、彼はポスドクを得ることが出来た。それで、彼女だった女性と結婚式をあげた。私も呼ばれたが、その後、彼らは大阪国際空港から憧れのアメリカへ出発した。私は非常に複雑な思いでそれを空港の屋上から見送った。その後彼は1年から2年に延長して帰国した。帰国するとすぐに大阪府内の有名私大の物理の講師になった。

そこから神戸の国立大助手、助教授、教授と順調に進みんだ。そして数年前に定年退職したのだ。

その後、私は論文が博士の期間内に出せない状況になった。それで、しかたなくいくつか関西の企業を中心に回ってみた。しかし全部理論物理学者はとらないということでだめ。がっかりしていると、関東のセメント会社の研究所からお声がかかった。実験するつもりがあれば採用する。そう言って誘ってくれたのだ。そこは私のいた研究室の遠い先輩が部長をする研究室だったのだ。それで、一度レストランで会って話を聞いた。私の返事はほぼ即決で、二つ返事のはいだ。それは私の家の事情からすぐにでも就職したかったからだ。

そして私は6月からの中途採用として採用された。最初はやることないからそれまでの論文を作っていていいよということだった。入社後の新人研修。研究室の報告会の参加。そんなことをのんびりやった。さらに東北大の西澤潤一博士の半導体研究所の見学をした。そのついでに宝石学会会長の鉱物学者の砂川一郎博士の研究室を見て回った。その後、山梨県甲府市に山梨県立宝石美術専門学校が誕生した。すると、彼がその初代学長になったのだ。実に不思議な因縁だ。なぜなら、この学校は、私の父が長年尽力して誕生した専門学校だったからだ^{*62*63}。むろん、私が彼に会ったときには、そんなことは少しも話題にも頭に登らなかった。

私はそのセメント会社のサッカー部に入った。それで、何試合か

^{*62} ファミリービジネス 1：山梨県立宝石美術専門学校設立; ファミリービジネス 1：山梨県立宝石美術専門学校設立.

^{*63} ファミリービジネス 1：山梨県立宝石美術専門学校設立; ファミリービジネス 1：山梨県立宝石美術専門学校設立.

出場した。この時期の 3 ヶ月間、確かに私は日本のバブル全盛期を味あった。サッカー部で合コンしたり、研究室の若いメンバーと六本木へ遊びに行った。そこで知り合った女の子とバーをはしごしたり、踊りに行ったりしたものだ。確か横浜へも行った記憶が戻った。そんな経験が人生でたった一度だけできたのだ。そうしているうちに、3 ヶ月が過ぎ、私はつくばの電総研で実験を学ぶことになる。

1986 年の秋 9 月に私は工業技術院の電子技術総合研究所^{*64}へ移った。民間企業からの国内留学というものだ。そこで当時日本が開発中の太陽発電機の受光素子のアモルファス太陽電池になる基盤の研究を行ったのだ。これがいまの太陽光発電の基盤技術になったのだ。

それがアモルファスシリコン半導体だ。そして、私が行った時はすでにそのアモルファスシリコン半導体は調べつくされていたのだ。私より数年前に他の企業から内部留学生として来ていた人が行っていたのだ。私の前の人は、今度はゲルマニウム半導体の番だった。そして彼は 2, 3 年それを行った。

それで、今度は私の番だ。私のテーマはそれらの合金のアモルファスシリコンゲルマニウムの半導体だ。シリコンとゲルマニウムは性質が極めて異なる。ところが、この両極端の物質で合金のアモルファス半導体を作成するのだ。何度やってもうまくいかない。どうしても均質にならない。そこには歴然たるルールがあった。一日一膳。これは 1 日に 1 回きちんとしたデータをとって仕上げるという約束のことだ。

^{*64} いまは産業技術総合研究所,(産総研, AIST) になっている。

毎日朝8時には研究室で装置を立ち上げる。真空ポンプを作動させるのだ。そして、すべてをシナリオ通りにセットしていく。そして、午前中の規定時間内に実験開始。そして慎重に半導体膜を作成する。それが終わればすべて清掃に入る。明日の実験の用意を行う。それが終われば、今度は資料を検査する。規定通り、ノルマ通りの作業をしていく。そして、先輩たちのデータと比較できるように全く同じグラフ、同じ処理を随時行っていくのだ。検査、データ処理、グラフ化、こうしたものがすべて完了する。すると今度は検査で使った劇薬を規定通りに処理してすべてが完了するのだ。帰宅は夜の11時や11時過ぎだ。朝6時に起きて、夜11時過ぎに寝る。これが毎日毎日続くのだ。

週末だけ一応休みだった。ちょうどこの時期、つくば博が開催中だった。我々も週末1回だけつくば博を見に行った。

ところが、そうやってデータを集めているうちに、私のデータ処理が出来ない事態に陥ったのだ。ちょうど実験にもだいに慣れてきて全部自分で自分のことが出来始めた頃だった。

私の作った膜は有る種の異常を示したのだ。それまでのアモルファスシリコンだけ、アモルファスゲルマニウムだけの場合とは違った。合金系だから、ゲルマニウムの濃度をいろいろ変えることができる。ゲルマニウム0%からゲルマニウム100%までさまざまに調節するのだ。この間の可能性は無限だ。だから、最初の取り掛かりは半々だろう。それで私はゲルマニウム50%ゲルマニウム50%から始めたのだ。

両端の場合はまだましだった。従来の方法で行えたのだ。シリコンだけなら、強アルカリのKOHでエッチング処理。ゲルマニウムだけなら、強酸の王水でエッチング処理。こういうもので、ガラス

表面に蒸着させた膜をエッチングして落とすのだ。そして検査過程に入る。

ところがほぼ半々になった。すると、王水で処理すると、膜がきれいに洗えない。今度は反対の強アルカリの KOH で処理すると、また膜がきれいに洗えない。どうしても落ちない。落とさないと、検査過程に進めないのだ。

一日一膳のはずが、どんどん未処理が溜まっていく一方だ。そこで先輩たちにどうしたいいのか聞く。しかし彼らも初めての経験でどうすべきかわからずアドバイスできない。

そこで、理論出身の私がひらめいた。おそらくこうだ。そういうアイデアが瞬いたのだ。

そこで、私は処理の液体を反復の場合と交互の場合に実験してみたのだ。それができるくらい未検査の資料が溜まりに溜まっているのだ。もうどうにでもなれだ。分からなきゃ最後はもう何も言わずに全部先輩のやり方に従ってノルマをこなせばいい。それで、

- 1 番目は、最初王水処理して残った膜を再度王水で処理。
 - 2 番目は、最初王水処理して残った膜は KOH で処理。
 - 3 番目は、最初 KOH で処理して残った膜は王水で処理。
 - 4 番目は、最初 KOH 処理して残った膜を KOH で処理。
- こうすれば、最後に膜が残るのがどれかでその膜がどれに溶けるものか解る。

王水はゲルマニウムを溶かす。KOH がシリコンを溶かす。資料はシリコンゲルマニウム半々の合金だ。だとすれば、

- 1 番目で残るのは、シリコン。
- 2 番目で残るのは、なし。
- 3 番目で残るのは、なし。

4 番目で残るのは、ゲルマニウム。

これが普通の予想だ。結果は意外だった。

1 番目で残るのは、シリコン。

2 番目で残るのは、なし。

3 番目で残るのは、なし。

4 番目で残るのは、なし。

果たしてこれが何を意味するだろうか？

これは、表面にシリコンが残っていることを意味するのだ。これが意味することは、ガラス表面には最初シリコンが蒸着し始める。ある程度シリコンが層を作ってからその上にゲルマニウムが蒸着し始める。つまり、膜の厚さ方向に不均一ができる。この作製方法は、基盤のガラスと親和しやすいシリコンを選択的に結晶成長させるのだ。

この他の基盤の温度を高温と低温にした場合のデータは、低温の方が残留物の蒸着が進んだ。これもこの考えを支持したのだ。

ついに私がこういい出したのだ。仲間はずぐにそれにすごい、そうだといって賛成してくれた。そしてみんなでボスにそういう事を話したのだ。すると、私はそのボスに嫌われた。

そこへ物理学会がやってきた。私は企業に入ってからすぐに論文を2つまとめたのだ。それを学会で報告する予定にしていた。だからその予稿を作らなければいけなくなった。みんなが実験の発表を使用と準備する時、私は職場の仕事以外の理論の発表をしようとしたのだ。そうせざるを得ない状況だった。

すると、ある時私はそのボスから「お前、もう来なくていいよ」と死刑宣告されたというわけだ。それで、私はそこを首になった。会社はあまりの急な予想外の出来事で驚いた。特に会社とは何の間

題もなかったが、私の戻る場所はなかった。そんなわけで、その後 1 ヶ月ほど暇をもらった。その間に今後どうするかを選択に迫られたのだ。そこで、私は海外の大学にそこら中に手紙を送ったのだ。

すると幸いユタ大学の甲元真人先生から返事が来た。今度東大物性研に行くから一度会おう。それで物性研へ行って会った。すると、正規のルートで大学院へ応募してくれたらなんとかする。私はそれに従った。運良く私は大学院生になれたのだ。それで TOEFL も受からないまま。そして、それから半年以上失業生活で留学の手続きを粛々と行ったのだ。

そうこうして、私は 1986 年 9 月 13 日にアメリカのユタ州ソルトレークに降り立った。それから、4 年で運良く PhD になることができた。むろん、この間のことも話せば長くなる^{*65}。しかし、最初の 2 年間は週に 2 日は徹夜という日々だった。

だから、この時期はまったく日本のバブルを味合うことはなかった。特筆すべきことは、1988 年に今の妻と初めてソルトレークで出会ったことだ。妻はその時代を確かに生きていたのだ。

これが私のバブル全盛時代だったのだ。

14.15 アメリカの策略

ところが、実はアメリカはこの時代が来ることをじっと待っていたのだ。彼らにとって、日本は「金のなる木」だったのだ。

これはどういう意味だろうか？

その前にもう一度、どうしてアメリカは第二次世界大戦に参加し

^{*65} 実はユタでも日本と同じようなことが起こったのだ。

たのだろうか？

実はこれはアメリカは参戦せざるを得ない状況に追い込まれたのだ。その根源は、あのニコラ・テスラ時代に遡る。

J・P・モルガンは英ロスチャイルドの命を受けた。モルガンがアメリカに指図して、アメリカは第一次世界大戦に参戦したのだ。その結果、多大の戦争債を発行した。つまり、モルガンがアメリカに戦費を貸し付けたのだ。むろん、そうすることがイギリスの最初からの狙いだ。

独立して唯我独尊状態のアメリカには腹がたつ。元の植民地のアメリカに戻したい。だから、イギリスはアメリカを戦争に引きずり込んだのだ。アメリカは戦争で借金財政になった。結局、アメリカはイギリスの言いなりになるしかない。それでFRBができたわけだ。これはロスチャイルドの民間銀行だ。FRBを作り上げることは英ロスチャイルドの最初からの真の目的だったのだ。

こうして、アメリカには第二次世界大戦前までに借金が残り続けたのだ。アメリカはこれを支払うことは出来なかった。それで、今度は第二次世界大戦でイギリスがピンチになった。とたんにアメリカは助けに行かざるを得ない。こうして民主党のルーズベルト大統領は、イギリスのいう通りに日本に対して宣戦布告した。そのチャンスはずっと待っていた。それがパールハーバーだったというわけだ。

しかしながら、アメリカは戦争に勝つには勝った。しかしアメリカの財政破綻寸前だったのだ。日本も大変だったが、アメリカも大変だったのだ。もうちょっと日本が頑張れば、アメリカは白旗を上げざるを得ない状態だったのだ。あのベトナム戦争末期と同じだったのだ。しかし、当時の日本人はそれが分からなかった。アメリカ

の方も去勢を張ってハツタリをかましたのだ。

それで戦後アメリカ本国は無傷で残ったのは良い。しかし、第一次世界大戦から続く多額の借金を財政不安から返すメドが立たない。そこで、アメリカは日本を庇護する形で、アメリカのために日本を働かせる作戦に出たのだ。そして、戦後賠償の形で日本人に自分たちのロスチャイルドへの借金を支払わせるのだ。これがアメリカの戦略だったのだ。

その証拠がこれだ。

ハドソンの「なぜ日本は借金大国になったか？」^{*66 *67 *68 *69 *70}。

マイケル・ハドソン

III. 日本の借金増加に米国財務省が果たした役割

日本の財政ジレンマの原因の中で見落としがちなのは、日本の借金の増加が米国財務省への融資額の増加と歩調を合わせている点である（OW64,65,74,75 参照）。表 5 は、日銀の財務省証券の購入額（保有額の年間の増減）と、日本の国債発行額を比較したものである。

表 5. 日本は米国に融資するために借金をしている

^{*66} <https://sun.ap.teacup.com/souun/126.html>.

^{*67} <https://kamogawakosuke.info/1996/11/06/日本はなぜ借金大国になったか後編/>.

^{*68} 昔のブログより：ハドソンの「なぜ日本は借金大国になったか？」 1；
<https://quasimoto.exblog.jp/18691730/>.

^{*69} 昔のブログより：ハドソンの「なぜ日本は借金大国になったか？」 2；
<https://quasimoto.exblog.jp/18691870/>.

^{*70} マイケル・ハドソン著/広津 倫子訳「超帝国主義国家アメリカの内幕」（徳間書店、2002年）。

日本の国債発行額 日本の 財務省証券 割合

購入額 (単位: 兆円)

(a)	(b)	(b)/(a)	
1965	0.2		
1970	0.4	0.4	98%
1975	2.0	-0.2	-11%
1980	14.3	1.0	7%
1981	12.3	0.8	6%
1982	10.4	-1.2	-11%
1983	13.3	0.3	2%
1984	12.7	0.5	4%
1985	11.7	0.1	1%
1986	19.8	2.5	12%
1987	0.5	4.8	46%
1988	13.3	2.0	15%
1989	12.7	-1.8	-14%
1990	5.6	-0.7	-13%
1991	6.7	-0.8	-12%
1992	7.3	0.0	-1%
1993	8.1	3.0	37%
1994	13.6	2.7	20%
1995	12.6	5.7	45%
1981-85	60.4	0.5	1%
1986-90	51.9	6.8	13%
1991-95	48.3	10.6	22%

1993 年～1995 年には、日本の外貨準備を通じた米国財務省証券の購入額は、日本の国債発行額、つまり日本の財政赤字（経常支出の赤字を埋めるために日本が発行しなければならなかった国債発行額）のほぼ 3 分の 1 にものぼった。日本が米国の財務省証券を購入することで助かるのは米国の財政赤字である（表 6 参照）。

表 6. 米国の財政赤字に対する日本の資金援助の割合

米国の歳入 米国の歳出 米国の財政赤字 日本の財務省証券 割合
購入額 (単位: 10 億円)

(a)	(b)	(c)	(d)	(d)/(c)	
1965	126	119	-7		
1970	206	185	-21	1.1	-5%
1975	302	292	-10	-0.7	7%
1980	565	617	52	5.1	10%
1981	659	625	-34	3.6	-11%
1982	686	710	24	-4.9	-20%
1983	678	786	108	1.3	1%
1984	752	829	77	1.8	2%
1985	807	1,032	225	0.3	0%
1986	848	1,096	248	15.5	6%
1987	969	1,149	180	38.7	22%
1988	1,012	1,215	203	15.8	8%
1989	1,093	1,270	177	-12.8	-7%
1990	1155	1,393	238	-5.5	-2%
1991	1,201	1,480	279	-6.4	-2%
1992	1,259	1,527	268	-0.4	0%

1993	1,238	1,492	254	26.9	11%
1994	1,331	1,532	201	27.3	14%
1995	1,447	1,607	160	55.7	35%

こうして、我が国の経済はついにバブル崩壊の時を迎えるのだ。一見、我が国の経済は無事に戦後復興を成し遂げた。そして、我が国の経済はバブル全盛期を迎えた。我が国の経済は、いまの中国のように世界一になる直前まで行った。我が国の経済はすべて順調に行ってたように見えた。

しかし、その裏で、米 CIA のスパイたちが日本政府の中に仕込まれた。彼らは巧妙に我が国の財政破綻を起こすように罠を仕掛けた。そして、日本政府の借金財政という形で、多額の借金を増やし続けた。

それは、アメリカの財政赤字解消のためだった。アメリカの財政赤字の根源は戦争債権だった。結局、我が国はアメリカの戦費を賄うために使われたのだ。その戦費で、日本人は戦争の犠牲になったわけだ。日本人の金で日本人を殺す結果になったというわけだ。

これは白人種の特有の考え方なのだ。縄文人、日本人とは相容れない考え方なのだ。

14.16 バブル崩壊 1990年代

そしてついに 1990 年代のバブル崩壊^{*71}の時代を迎える。しかし、その直前まで、日本経済は順調だった。何一つ問題はなさそ

^{*71} <https://ja.wikipedia.org/wiki/バブル崩壊>.

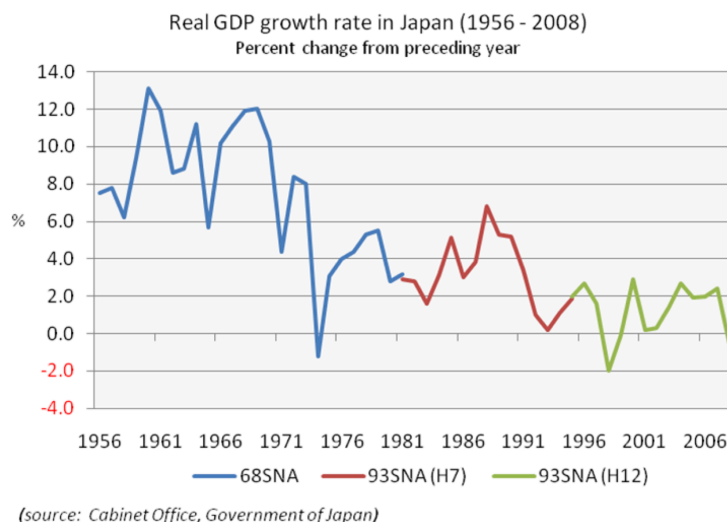


図 14.14 日本の実質成長率」
<https://ja.wikipedia.org/wiki/バブル崩壊>

うだったのだ。

そして、宮沢喜一首相^{*72}がそのスイッチを切る。おそらく、宮



図 14.15 宮沢喜一首相とビル・クリントン大統領 迎賓館
<https://ja.wikipedia.org/wiki/宮澤喜一>

^{*72} <https://ja.wikipedia.org/wiki/宮澤喜一>.

沢喜一首相は大蔵官僚時代の人脈にアメリカの CIA やジャパンハンドラーズのメンバーがいたのだろう。そういう白人から相当のプレッシャーを受けたに違いない。

一方、すでにアメリカは、次世代のインターネットテクノロジーを手にしていて。インターネットの技術は1989年代後半にはアメリカに登場していた。ビル・クリントン時代には、彼は「スーパーハイウェイ構想」を打ち上げていたのだ。だから、彼には将来のビジョンが見えていた。つまり、アメリカがこれまでのアナログテクノロジーの世界を叩す。そうすれば、自動的に日本の主導権を落とせる。彼ら米白人は、そういうことを理解していた。

もはやコンクリートによるインフラの時代ではない。そういうムードを生み出したのだ。しかしながら、いくら情報網がコンクリートより安上がり。そうはいっても、それも電線を引かなければならない。ケーブルが必要だ。まさに、まだ有線だ。ワイヤレスはずっと先だった。結局は最低限のインフラ整備が必要になる。

しかし、今度からはそうした細々した装置がすべてアナログ回路からデジタルのプログラミングの必要な回路に変わる。配線すれば動くものではない。そこにソフトを注入しなければ、作動しないのだ。我が国は、このソフトの面で非常に立ち遅れていたのだ。これはいまもそうだ。

14.17 平成元年

14.17.1 平成元年私はユタにいた

そしてついに1989年、我が国は平成時代へ入っていくのだ。

私はその頃まだアメリカにいた。PhD コースの 3 年目だった。すでに TA として英語でディスカッションセクションをアメリカ人学生たちに教えていた。だいぶ現地の生活も板についた。大学院生仲間からもユタの学生たちからも信望が出てきた頃だった。すべては円満だった。

その頃、ある出来事が起こった。私が学部の事務の秘書長さんから突如「今度のディスカッションを誰か友達に代わってもらえ」と言われたのだ。私は意味不明で理解できず、なにもしなかった。代わりも見つからなかった。見つけもしなかった。そして、いつものようにお昼前の授業を終えてビルの外に出て自分のオフィスへ向かった。

すると、その頃日本の地方国立大から大学教授 1 人がユタ大物理にアモルファス薄膜の研究で来ていたのだ。その人が私に手を振りながら「井口さ〜ん」「井口さ〜ん」「井口さん、大変だ〜」と叫びながら走ってきたのだ。私はびっくりして何事かと思ってそっちを見た。すると、どうやら事情がつかめた。私が 1989 年度のユタ大物理学部の MVP になったというのだった。物理学部「顕著な大学院生賞」("Outstanding Graduate Student Award")を受賞したのだ。これは物理学部から毎年 1 人か 2 人にしか出さない有名な賞だった。おそらく、私の指導教官のビル・サザーランド教授^{*73}が強く推薦してくれたのだ。

その頃の私はこんな生活だった。だから私には日本のことなどどうでも良かったのだ。だから、人づてに昭和天皇陛下が崩御された

^{*73} T. Bill Sutherland (born March 31, 1942; https://en.wikipedia.org/wiki/T._Bill_Sutherland).

と知ったのだ。

14.17.2 平成の意味

ところで、平成の意味を考えたことがあるだろうか？

その前に「白村江の戦い」を思い出そう。「平成」を「裏面解読法」でみるとその真実が浮かび上がるのだ。

実は、「裏面解読法」という古事記や日本書紀に対して行われる考古学の方法がある。これは、竹田日恵氏が得意な方法だ^{*74*75*76}。

その時代の人が漢字をどのように用いたか？

これを理解すれば、古事記日本書紀の真の狙いや真実が読めるというものだ。竹田氏はそれで、白村江の時代^{*77}を読み解いた。すると本当のことが分かってきたのだ。

日本の天皇は、白村江の戦いに朝鮮へ出兵した。百済の王族は窮地に陥っていた。それで彼ら同盟国の百済人を救済するために、百済の王族を日本へ逃した。そして日本軍が白村江の戦いで大きな犠牲者を出し大敗して帰る。

ところが、日本軍が朝鮮出兵している内に、本国の日本が大変なことになっていた。鬼の居ぬ間の洗濯。旦那のいない間の間男。そんなことが日本で起こったのだ。

^{*74} 「日本書紀」に秘められた真実とは？：著者は2人。大化の改新、白村江の戦いの真実が明らかとなる！；<https://quasimoto.exblog.jp/22085406/>.

^{*75} ダビンチ・コード？：日本史コードの方がもっと面白い！「日本書紀裏面解読法」；<https://quasimoto.exblog.jp/21999232/>.

^{*76} 竹田日恵著「竹内文書」世界史の超革命―人類の正史が記された超弩級のオーパーツ（「超知」ライブラリー）（徳間書店、1996年）.

^{*77} <https://ja.wikipedia.org/wiki/白村江の戦い>

残された天皇家の若者は百済王族に殺されていた。また天皇家の女は娶られていたのだ。それで怒った天皇は彼らを除去しようとした。かろうじて天皇だけは奪われずにすんだ。しかし多くの要職は奪われていたのだ。そして、彼らが養護する新天皇を即位させた。その元号が「白雉^{はくち}」だった。西暦 650 年のことだ。

これは、百済の手下たちが、日本国内での全てを無事完了させた。そして、ついに日本の天皇が「傀儡政権下のお飾り天皇（ロボット天皇ともいう）」になった。百済では、それに非常に喜んだ。その百済が「白雉^{はくち}」送ったのだ。

この白雉の「意味とは、表と裏の 2 つある。表の読みでは「聖王が天下を治めているめでたいしるし」になる。一方、裏の読みでは「天皇の正しい政治を空しくしてしまった」になる。つまり、やったぞ、ついに日本を我が物にしたぞ。そういう記念につけたものなのだ。

これをわざわざ百済から運んできたやつがいたのだ。それが長門国（山口）宍戸の国司、草壁醜経^{くさかべのしこぶ}だったのだ。草壁醜経^{くさかべのしこぶ}はこの頃百済から来た仏教高僧の何人かの 1 人だ。そしていまでは日本で非常に有名になっている。歴史上の人物なのだ。そういう日本にとっての陰謀団の首領が山口にいたのだ。

これと同じことが平成にも使われているのだ。表の意味は「日本国の内外、天地とも平和が達成される」という意味だ。裏の意味は「日本国の内外、天地とも平定が達成される」という意味だ。

誰が日本を平定したのか？

それが戦前戦後我が国に住み着いた在日韓国人朝鮮人による日本平定という意味だ。これが、ついに達成された。ついに日本の政治や経済界まで在日韓国人朝鮮人が完全に支配できる段階になったと

いう祝を込めたのだ。

14.18 空白の10年

14.18.1 平成元年以降の首相たち

この裏面解読法の読みは本当なのだろうか？

実はそれがその後の歴代の首相を見れば、一目瞭然なのだ。

自民党：

おぶちけいぞう もりよしろう こいずみじゅんいちろう あべしんぞう ふくだやすお あそうたろう
小渕恵三→森喜朗→小泉純一郎→安倍晋三→福田康夫→麻生太郎

民主党：

はとやまゆきお かななおと のだよしひこ
鳩山由紀夫→菅直人→野田佳彦

自民党：

あべしんぞう すがよしひで
安倍晋三→菅義偉

はたしてこの中に何人日本人がいるのだろうか？

一説では、小渕恵三首相だけだったと言われるほどだ。それ以前では、田中角栄首相だけだった。その他は、戦後のGHQの手下になれるものしかなれなかったのだ。だから、在日出身、同和出身の者が多かったと言われる。

この意味では戦後の日本は極めて自由だ。本人の出自に関わらず、勉強さえできれば出世できるのだ。一見実に民主的に見える。

しかしながら、これが白人の常套手段だ。その民族の最下層を手厚くして、それまでの最上層を葬り去る。そうやって敵国を支配してきた。これが古来からの彼ら白人がこの地球人を支配するために行ってきた伝統的方法なのだ。

それを日本人に対して、戦国時代以降、織田信長時代、豊臣秀吉

時代、徳川家康時代、江戸時代、明治維新、そして大正、昭和、平成と行ってきたに過ぎない。

14.18.2 安倍晋三のファミリーツリー

安倍晋三氏はあの草壁醜経^{くさかべのしこぶ}のいた山口出身だ。しかも彼は韓国の李垠^{りぎん}の血筋がある可能性が高いのだ*78。

安倍晋三氏の父親安倍晋太郎氏は、韓国最後の王子李垠とその妻李(梨本)方子の息子だという有力な説がある*79*80。娘が横田早紀江さんだ。つまり、横田早紀江さんと安倍晋太郎氏は兄妹なのだ。横田早紀江さんの娘は北朝鮮の拉致被害者の1人だ。それが横田めぐみさんだ。つまり、この関係が事実であれば、横田めぐみさんと安倍晋三氏とは、いところ同士になるわけだ。

中丸薫さんの情報*81によれば、北朝鮮の金正恩は金正日と横田めぐみさんの息子になる。つまり、安倍晋三氏にとって北朝鮮の金正恩は甥にあたるわけだ。

*78 「安倍晋三のバックは朝鮮人ですか。統一教会ですか。暴力団ですか。金融ユダヤですか。日本会議ですか。」
;https://quasimoto2.exblog.jp/238838619/.

*79 壮大なる金正日ファミリー！？：「第4夫人＝クネクネ大統領説」があったヨ！ ; https://quasimoto.exblog.jp/22392400/.

*80 壮大なる金正日ファミリー！？ 2：中丸薫説に従うとこんな感じか！ ;
https://quasimoto.exblog.jp/22398375/.

*81 中丸薫著「メディアが絶対に報じない真実の北朝鮮」(イースト・プレス, 2013年).

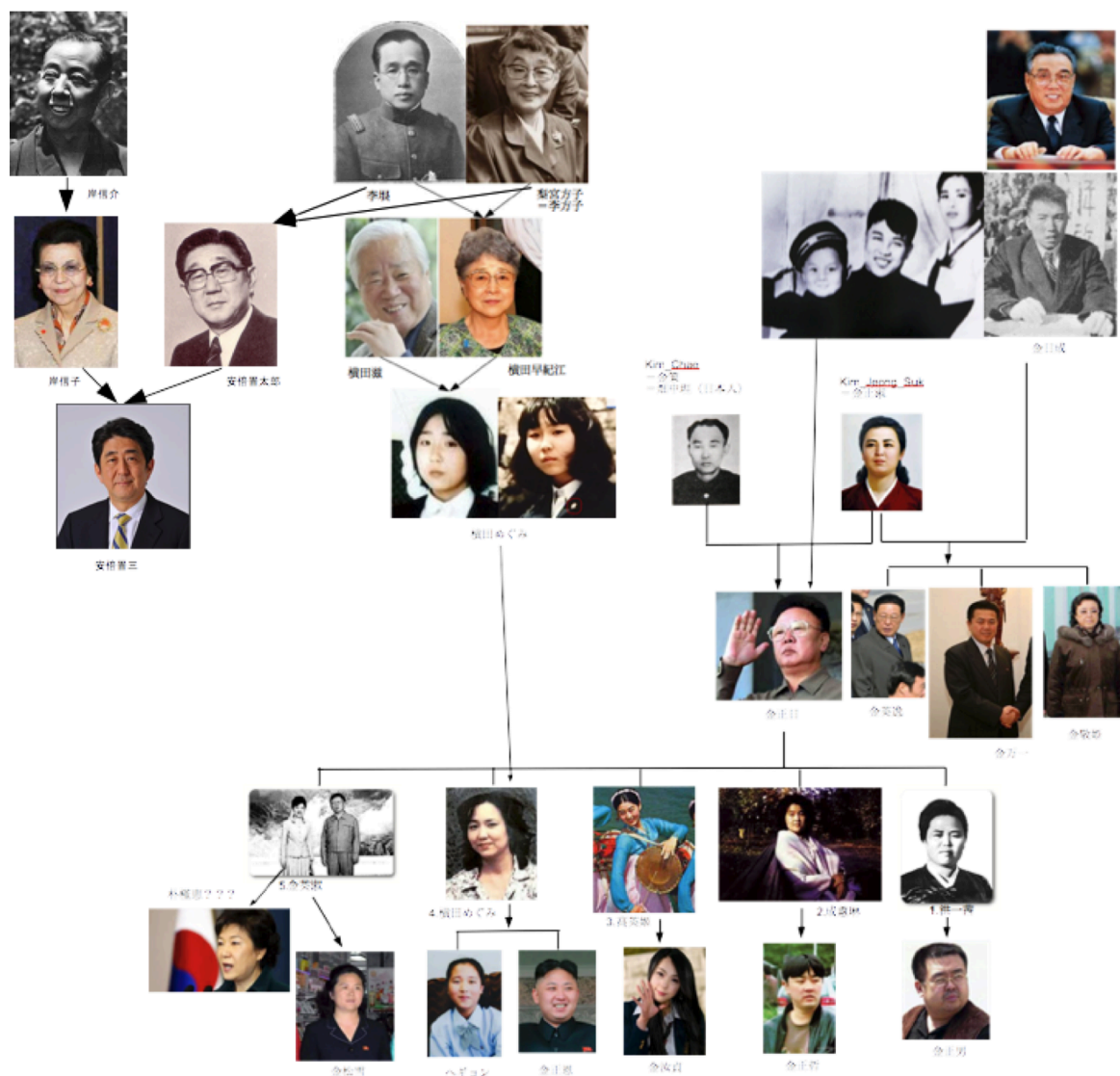


図 14.16 朝鮮族ファミリーツリー このファミリーツリーは、私がさまざまなネットや書籍の情報を基に作り上げたものだ
 壮大なる金正日ファミリー！？：「第4夫人＝クネクネ大統領説」があったヨ！ <https://quasimoto.exblog.jp/22392400/>
 壮大なる金正日ファミリー！？ 2：中丸薫説に従うとこんな感じか！ <https://quasimoto.exblog.jp/22398375>
 安倍晋太郎は背乗り野郎だった！？：いや～～すべてが腑に落ちた！このボケが！
<https://quasimoto2.exblog.jp/238840190/>

14.18.3 インターネットと在日コリアの日本支配

さて、この平成時代の首相たちが何をしたのだろうか？

まずバブル崩壊し、小渕恵三首相へ渡るまでに、我が国にもインターネットが誕生した。1996年のことだ。ちょうどその頃1996年の春に我が家はこっちの阿南へ引っ越してきた。その年の秋頃に徳島にもインターネット網が開通し始めたのだ。それで、私はここ徳島のプロバイダーから得た阿南のアクセスポイントにその頃繋いだのだ。その頃のネットはNTTの電話回線を通じて行うものだった。我が家のホームページはその頃に作ったものだ。

その頃は、まだパソコンをネットにつなぐまでの設定に何日も費やさなければならなかったのだ。いろいろ本を買って勉強してやっとつなげたことを覚えている。とにかく当時はネットを使えるようになるのは一苦勞だった。忍耐を要したのだ。そのためのネット設定の仕事まであったほどだ。論文をダウンロードするにも遅くて1日かかったりしたものだ。当時はマックのOS9だった。

そんな中で、小渕恵三首相が登場した。彼は、元号の平成を掲げただけだった。

すぐに森喜朗首相に変わる。森喜朗首相は「情報ハイウェー構想」をぶち上げた。これはアメリカの民主党ビル・クリントン大統領の計画に応答したものだ。森首相がやったのはこれだけだ。

そして電通マンの広告が功を奏して、変人が総理大事になった。当時独身の変人小泉純一郎首相の誕生だ。彼がやったのは、経済学者の竹中平蔵を政治家にしたことだ。彼は竹中平蔵と2人で、「骨太の方針」をぶち上げたのだ。



図 14.17 平成おじさんこと小渕恵三首相

これを機会に竹中平蔵氏は我が国の権力者になった。いまや彼は
大富豪だ。人材派遣会社パソナやマクドナルドのメインオーナー株
主だ。単なる学者ではない。日本のヘンリー・キッシンジャーだ。
いまや彼をだれも止められない。

はたして1994年の宮沢喜一のバブル崩壊から2004年の小
泉純一郎までの10年で何が生まれたのか？

結局、彼らがやったことは、インターネットと格差社会を生み出
しただけだった。ネットはアメリカが作ったものだ。日本がそれを
コピーしただけ。つまり、小泉純一郎と竹中平蔵の2人が生み出し
たことは格差社会だけだ。

なぜ我が国に格差社会が生まれたのだろうか？

1970年代のキャンディーズの時代は、田中角栄の「日本列島
改造論」時代だった。

この時代の標語を覚えているだろうか？

この時代は「1億総中流」という言葉だった。日本人の7割が中流意識を持っていた。だれかにあなたは日本社会のどの辺にいるか？と聞けば、みな中の上とか、中の中とか、中の下とか答えたのだ。これが日本人に安心感と平和をもたらしたのだ。だから、キャンディーズやピンク・レディーを追っかけられたのだ。

実は、「骨太の方針」の中には罠があった。それは、格差社会へ巧妙に誘導するものだったのだ。だから、自動的にほぼ100%の確率で日本は格差社会になったのだ。これはアメリカの差し金だったわけだ。

田中角栄時代の「日本列島改造論」時代の「公共事業」への投資。これが、「地方交付税」というものだ。その額は年2兆円あった。各県庁所在地のある場所へこれが配布された。東京の都市部への投資と地方への投資に分かれていたのだ。

だから地方はそれを使って地方のインフラ事業を実施できた。コンクリート事業を行うことが可能だった。道路の新設、補修、撤去、橋の増設、ダムの増設、河川整備、何でも可能だった。これは田中角栄の日本列島改造論の結果できたことだ。これが地方を活性化したのだ。だから、我が国はどんな地方のどんな田舎でも大半の道路はアスファルトになっている。海外の国々とは全く異なるのだ。

その恩恵を外人インバウンドがいま享受できているのだ。むしろ、外人は日本の歴史はまったく知らない。彼ら白人には今さえ良ければいい。だからそういうよその人種の持つ背景はどうでも良いのだ。彼らには何も見えない。そういう脳みそなのだ。

ところが、小泉と竹中平蔵の施策は違った。彼ら自民党は、科学

振興のためという名目で「科学技術基本法」*82を制定したのだ。それ自体は良かった。しかし罣があった。それが、この科学振興のための予算をあの「地方交付税」分の2兆円を全部回したのだ。つまり、毎年地方交付税分の2兆円が科学振興予算に変わったのだ。

大学はどこにあるだろうか？ 研究所はどこにあるだろうか？

大学や研究所は東京や大阪の大都市や中央都市にある。各地方でも中央都市にある。

これまで年がら年中地方の道路や橋やダムや河川が工事中だった。それは日本ではそこら中でよく見かける風景だったはずだ。若者や学生のためのアルバイトになったものだ。これが綺麗サッパリ消えたのだ。

その代わりに大都市圏内にある大学や研究所や企業を中心に毎年2兆円の科学予算がついたのだ。だから、今度は、年がら年中大学内や研究所内で工事が起こった。駐車場の整備、ビルの改築増設、ネット環境の整備、ハイテク機器や機材の導入、研究所建設ラッシュ、外国人ポスドク、外国人留学生優遇、数え切れない。

これが大都市を活性化させた。大都市だけに金が潤った。ベンチャー企業やネット産業がどんどん誕生したのだ。しかも、この法律の下で、大学の学者には特許料がほとんどかからなくなった。

さらに、国立大学や研究所の独立行政法人化、ポスドク1万人計画、大学院の重点化。こうしたものが輪をかけた。いまや大学の先生の給料は自分で決めるのだ。職員採用も自分で決められる。だれが正規で誰が非正規か自分で決めるのだ。

田中角栄の時代は国が決めたのだ。人事院で決めたのだ。それが

*82 <https://ja.wikipedia.org/wiki/科学技術基本法>.

消えた。こうして首都圏の空気は一気に近未来的に変わっていったのだ。一方、田舎は昔の国立大からして如実に衰退していったのだ。

私の時代の教授は、研究費こそそこそこあった。しかし、安月給のために、車を持つ人はまれ。ましてや自動車で大学に通う人など減多にいなかったのだ。殆どの教授は徒歩だった。大学には職員のための駐車場がなかった。いまは全く違う。大学教授は確実に外車のベンツや BMW に乗っているのだ。

私が我が家のホームページを出したころのことだ。孫正義はその頃アメリカから帰ってきた。最初は単なるネット検索サービスから始まった。彼は在日韓国人だ。それがソフトバンクになった。

三木谷浩史はネットモールの楽天をやり始めた。最初は文章だけだった。コーヒのブルックスは夫婦でコーヒ販売をネットでやり始めた。ところが、大都市は金回りが良いから、彼らの事業はドンドン大きくなった。そしてそれから 25 年でいまや日本一二の大富豪だ。

地方にいた我々は何一つ変わらなかった。全く同じ頃にネットに進出し、同じような HP を立ち上げたにもかかわらずだ。

これが格差社会誕生の本当の物語だったのだ。こうして、小泉政権から安倍政権へ移る。

結局、その 10 年で何が変わったか？

在日 3 世 4 世が、あまり資本のかからないネットビジネスに起業したのだ。その結果、彼らは日本政府の後押しを受けた。そうして彼らはあっという間に日本社会の主流に躍り出た。それはそういうことだったのだ。

彼ら在日韓国人には、北朝鮮や韓国に親戚がある。彼らは国際的

な協力が可能だ。日本の成功者は本国の仲間を援助する。日本のさまじまの情報を教える。

こうして、日本が「空白の10年」を続け始めた時、面白いことが起きた。サンヨーが韓国のサムソンを援助したのだ。サンヨーには私の阪大大学院時代の同級生も行っていた。サンヨーは1980年代の日本企業を代表する白物家電メーカーだった。

一方サムソンは最初は韓国の事務機器の用品販売の個人店主に過ぎなかった。その韓国人社長がサンヨーに電気産業に参入したいと泣きついた。そしてサンヨーから直々の手ほどきを受けたのだ。つまり、サンヨーの韓国支社か支部だった。

それから20年、サムソンが世界企業になった。しかし助けた方のサンヨーは潰れた。そしていつしかサンヨーは見事に解体されて消え去った。いまはいくつかの企業の内部に残る程度だ。

これが「韓国の法則」というものだ。韓国人と関わるものは最後には全滅する。そういう歴史的経験法則のことだ。

これまでの何千年もの間、一度たりとも外れたことがない。そういう極めて恐ろしい法則なのだ。

白村江の戦いはその一過程に過ぎない。大東亜戦争もそう。朝鮮戦争もそう。ベトナム戦争もそう。これは今なお生きている。

14.19 空白の30年

こうして、気がついてみれば、1994年のバブル崩壊後この20年、30年何一つ変わらなかった。変わったのは、格差社会がますますひどくなったことだけだ。

さらに、その間に悲惨な事が起きた。

1995年1月17日の阪神淡路大震災^{*83}だ。これで神戸ポートアイランドに建築中の世界最速のスーパーコンピュータ計画が頓挫した。

その次が、麻生太郎政権時代の2008年のリーマン・ショック^{*84}だ。これで、もはや銀行預金という概念が吹っ飛んだ。利息0円。むしろアメリカではマイナス金利の時代になった。あらゆる人間にむりやり株や債券を買わせるように仕向けたのだ。

そして、2011年3月11日の東日本大震災^{*85}だ。福島第一原子力発電所が吹っ飛んだ。これで日本の電力産業が吹っ飛んだ。

さらに、2016年4月14日に九州を熊本地震^{*86}が襲った。2018年9月6日には北海道を大地震^{*87}が襲った。

いったい日本人がどれだけ犠牲になれば気が済むのだろうか？

関西、東北、東日本、九州、北海道とほとんど日本列島のすべて大震災が起こった。残るはここ四国と南海沖だけだ。

いまや日本全国、日本列島改造論時代に作ったインフラはもはやぼろぼろだ。しかし、空白の30年は外人が立ち寄りそうなハイテクの大都市や空港や大学や研究所ばかりを改造した。

だから、我々は「Youは何しに日本へ」で見るだろう。彼らには日本の見た目の美しいところしか見えない。日本に来る白人や外人は、日本のきれいなところだけを欲しがる。自分の国や家族のこと

^{*83} <https://ja.wikipedia.org/wiki/阪神・淡路大震災>

^{*84} <https://ja.wikipedia.org/wiki/リーマン・ショック>.

^{*85} <https://ja.wikipedia.org/wiki/東日本大震災>.

^{*86} [https://ja.wikipedia.org/wiki/熊本地震_\(2016年\)](https://ja.wikipedia.org/wiki/熊本地震_(2016年))

^{*87} <https://ja.wikipedia.org/wiki/北海道胆振東部地震>.

など関係ない。そうして、「日本はどこもかしこもきれいだ」という。しかしながら、実際の地方は廃れ、地方の銀座は閉店閑古鳥、駅前デパートは全部閉店。人は老人しかいない。可愛い女の子はみんな東京へ出る。地方の人の子どもたちはみな大都市へ流出。そして在日韓国人朝鮮人の妻になる。

これが今の日本の現状なのだ。

これが、バブル崩壊後の日本で起こったことなのだ。空白の10年で在日朝鮮人が我が国の富裕層になった。いまやフォーブスの富裕層の日本人のトップ100人の大半が在日朝鮮人だ*⁸⁸ *⁸⁹。

14.20 東朝鮮国から日本国へ

1970年代は、田中角栄の「日本列島改造論」の時代だ。我が国津々浦々の道路やトンネルやダムや河川や学校などの公共事業がコンクリート工事された時代であった。

いま諸外国からのインバウンドが、日本の道路がきれいだとか、日本が素晴らしいとか騒ぐ。どうやら、そういうイメージが出来上がっている。しかしながら、その基本ができた時代がこの時代だった。

それから50年後のいまでは、これが実質上は「ASEAN 列島改造論」に変わった。あるいは、「第三世界改造論」に変わった。

これは我が国国内ではなかった。チャイナ、コリア、インド、ト

*⁸⁸ アメリカの富豪ベスト19と日本の富豪ベスト27-その2：日本 No.1 はもちろん在日韓国人の孫正義！；<https://quasimoto.exblog.jp/22385786/>.

*⁸⁹ フォーブス世界長者番付・億万長者ランキング(2021年版)；https://memorva.jp/ranking/forbes/forbes_world_billionaires.php.

日本の億万長者					
順位	名前	関連	年齢	資産額 (10億 \$)	資産額 (兆円)
29	孫正義	ソフトバンク	63	45.4	4.95
31	柳井正	ファーストリテイリング(ユニクロ)	72	44.1	4.81
62	滝崎武光	キーエンス	75	25.8	2.81
274	永守重信	日本電産	76	8.7	0.95
311	高原豪久	ユニ・チャーム	59	7.9	0.86
391	三木谷浩史	楽天	56	6.7	0.73
539	似鳥昭雄	ニトリ	77	5.2	0.57
574	重田康光	光通信	56	4.9	0.53
727	伊藤雅俊	セブン&アイ	96	4.0	0.44
727	森章	森トラスト	84	4.0	0.44
727	野田順弘	オービック	82	4.0	0.44
752	三木正浩	ABCマート	65	3.9	0.43
956	櫻川陽一・恵子	コーエーテクモ	N/A	3.2	0.35
1111	宇野正晃	コスモス薬品	74	2.8	0.31
1205	大塚祐司	大塚商会	67	2.6	0.28
1362	栗和田榮一	佐川急便	74	2.3	0.25
1362	多田勝美	大東建託	75	2.3	0.25
1444	山田進太郎	メルカリ	43	2.2	0.24
1580	荒井正昭	オープンハウス	55	2.0	0.22
1580	福岡康博	スクウェア・エニックス	73	2.0	0.22
1664	前澤友作	ZOZO	45	1.9	0.21
1750	岡田和生	ユニバーサルエンターテインメント(アルゼ)	78	1.8	0.20
1833	韓昌祐	マルハン	90	1.7	0.19
1833	上月景正	コナミ	80	1.7	0.19
1931	藤田晋	サイバーエージェント	47	1.6	0.17
1931	小川賢太郎	ゼンショー	72	1.6	0.17
1931	和田成史	オービックビジネスコンサルタント	68	1.6	0.17
2141	島村恒俊	しまむら	95	1.4	0.15
2141	谷村格	M3(エムスリー)	56	1.4	0.15
2263	新井隆司(隆二)	ビックカメラ	74	1.3	0.14
2263	森佳子	森ビル	80	1.3	0.14
2263	佐治信忠	サントリー	75	1.3	0.14
2263	鈴木郷史	ポーラ	67	1.3	0.14
2263	和佐見勝	丸和運輸機関	75	1.3	0.14

図 14.18 2021 年度日本の長者番付トップ 50 人 (一部のみ)

フォーブス世界長者番付・億万長者ランキング (2021 年版)

https://memorva.jp/ranking/forbes/forbes_world_billionaires.php

ルコ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、フィリピン、。。。などの ASEAN 諸国のインフラ整備、地下鉄建造、橋の建造、。。。のものだ。「ASEAN 列島改造論」にしたがって ASEAN が改造されてきたのである。

これらの国々では、日本の地下鉄や巨大吊橋ができると大喜び

だ。そして、そのインフラができるやいなや、経済が発展してきた。

問題は、その時に使われた金だ。最初は我が国からの ODA だった。しかし最近の安倍晋三政権の 8 年ほどで、60 兆円もの無償投資が支援されたのだ。

田中角栄は、毎年 5 兆円を国内の公共投資に使った。これが我が国の土地バブルをもたらした原因だった。

この田中角栄が日本に対して行ったことを、平成の「空白の 30 年」の間に我が国政府は ASEAN に対して行った。だから、ASEAN が土地不動産バブルに沸き、インバウンドとして我が国へ旅行に来られるまでに成長したのである。

1970 年代、我が国の農協の団体さんがバブルに沸いた。そして彼らは世界各国に旅行ツアーにでかけた。

これと全く同じことが ASEAN 諸国で起きているのだ。彼らは日本にやってくる。物見遊山だ。見聞を広げるためだ。

この結果、誰が得をしたのだろうか？

むろん、中国と韓国だった。大企業など一個たりともなかった国々に巨大産業が誕生した。韓国には、鉄のポスコ、スマホのサムソン、太陽発電の LG、自動車のヒュンダイ。世界企業がたくさん生まれた。

だれがつくっていやったのだろうか？

言うまでもなく日本だ。最初は ODA や円借款だ。

では、だれが資金源になったのだろうか？

実は回り回って日本の金だった。こういうからくりだった。見かけはアメリカの大資本や銀行が韓国へ投資した。しかし、そのアメリカの金はどこから来たのか？

それが我が国が買った米国債だ。日本は一種の戦後保証のつもり

で米国債を買い続けたのだ。なぜなら、見かけ上戦後アメリカは戦後保証を受けとらなかったからだ。しかし実質的にはそれを米国債を日本に買わせる方法で担保したのだ。

問題はその米国債の金の行き先だ。半分がイスラエルへ行ったのだ。そのイスラエルはそれをモサドに回した。モサドはそれを南米の麻薬組織やテロリストに回したのだ。こうして豊かで平和だった南米がいまのような麻薬大国に変わってしまったのだ。

後半分はどこへ行ったのか？

アメリカ民主党のユダヤ資本は、それをアメリカ人のために使わなかった。日本人はアメリカ人のためになると思って買っているのだ。

ところが、彼らは韓国と中国へ回したのだ。それをネット事業の製品製造に当てた。それが韓国が登場した理由だ。中国もそうだ。事実、ザッカーバーグの妻は中国人なのだ。大半のアメリカ人のハイテクベンチャー企業の経営者の妻は中国人だ。それもみな飛び切りの美人だ。

彼らユダヤ人は、ソフト事業、ネット事業、ハイテク産業の歩留まりの問題を解決するために、産業拠点を中韓へ移動したのだ。日本は捨てられたのだ。

結局、日本人の国民の税金が米国債になる。それが世界の黄色人種の国々へ渡る。そして黄色人種の社会が麻薬漬け、過当労働漬けになる。

これが古代のアーリア人の時代から続く彼らの常套手段というわけだ。

さて、話を元へ戻そう。

つまり、何を言いたいのか？

日本人は1970年代からバブル全盛期の1990年代までに稼いだ。

結局、その外資はどこにあるのだろうか？

それは1600兆円に及ぶと言われている。実はそれがそっくりそのまま海外に溜まっているのだ。これが貿易黒字というものだ。それが我が国が世界一の債権国となった理由だ。

しかし、それがいまや国内のインフラ投資に当てられるのではない。海外のインフラ投資に使われるのだ。そのために、我が国が「空白の30年」となり貧困化したのだ。本来は、すべて我が国内で使われるべきものだった。

アメリカには米国債を買うという形で、ずっと米国内に溜まった日本の外資が使われた。だから、世界一の借金国である米国ですら、世界一の地位を保っていられたにすぎない。日本が手を引けば、米国は崩壊する。

しかしながら、こういう事実は隠蔽されている。いまの若い世代は誰もそういう本当の事情を知らないのだ。まあ、日本人は人が良すぎるのだ。

我が国が借金大国になった理由と米国がなぜいまだに世界一位である理由は表裏一体の裏腹の関係なのだ。つまり、バブル崩壊前には、米国債を買うため（＝買わされるために）日本国債を発行した。バブル崩壊後は、ASEAN インフラ整備のために日本国債を発行し続けたからである。

日本国は日本人に借金しただけだ。だから、貸した方の日本人は豊かになっている。この三橋理論のMMTの主張は正しい。しかし、彼の考えはその借金の使いみちについては間違っている。彼は何も言っていないのである。

日本の借金に国民が買っている。だから、国は問題はない。しかし、その結果得られた金は大半が海外で使われる。そっくりそのまま日本国内に使われるのではない。だから、日本人が年々貧しくなったのだ。だが、日本の経済学者のだれもこれを問題視していない。

経済学は、我々理論物理学者からすれば、応用数学の一種にすぎない。だから、簡単だ。だから、あまり面白くない。だから、物理学者は研究しないだけなのだ。経済学でノーベル賞とった連中は、もともと物理学者だった人間が圧倒的に多い。彼らは物理では目が出ないから早々に経済学に転向したのだ。経済学者はそういうレベルの低い元物理学者に過ぎない。つまり、言い方を変えれば、物理をやる能力のない無能な理論物理学者が経済学者になっただけなのだ。

しかしながら、こういうことが起こった原因もまた我が国に軍事力がなかったからなのだ。つまり、正規軍がなかった。いまだ敗戦処理国の状態だ。だから、日本人が儲けた金はすべて連合国側のものだとみなされてきたというわけだ。いまでもそうだ。だから、安倍晋三のというような単なる憲法改正ではだめなのだ。日本は独立国化しなければならない。日本は独自の新憲法を作るのだ。そして日本は新日本として誕生しなければならない。さもなくば、正統な縄文人の血を引く日本人は、永久にこの地球上では貧しいままなのだ。

いまこそ 1970 年代のキャンディーズの時代に戻ろう。我が国内のその頃建築されたコンクリートのインフラは、その耐用年数である 40 年を 10 年オーバーした。だから、いま一度「日本列島改造論」の時代に戻らなければならない。しかし今度は「日本列島修復論」の時代を作り出さなければならない。

令和の我が国はこれに尽きるのだ。

いま一度日本に春一番を吹かせたてまつり候

令和の坂本龍馬よ、いでよ！ 弥栄！